IMAGENICS

4K HDMI SWITCHER

HCS-62/HCS-61

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

HCS-62は、HDMI 2.0およびHDCP 2.2規格に準拠した6入力2出力のスイッチャーです。各出力にHDMI端子とHDBaseT端子、ディエンベデッド音声出力端子を備えています。HDBaseTによるLANおよびRS-232C延長機能を備え、外部制御はRS-232C，LAN，USB、パラレル制御に対応しています。PJLink等の任意コマンドの送出が可能です。フロント面にオプションでUSB Type-CまたはHDMI入力端子を最大2系統追加することができます。USB Type-C入力端子は最大60 WまでのUSB PD供給機能を搭載しています。
HCS-61は出力が1系統、コマンドが2種類になる以外は、HCS-62と同等の機能を持ちます。

この取扱説明書をよくご覧になり、十分にご活用ください。

2611MT　Rev1.3

安全にお使いいただくために

本機は、安全に十分配慮して設計されています。しかし、誤った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある事を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が怪我をしたり物的な損害を負う可能性がある事を示しています。

図記号の意味

△	注意	注意(警告を含む)を促すものです。例えば  は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止	禁止行為を示すものです。例えば  は「分解禁止」を示しています。
●	強制	行為を強制したり指示したりするものです。例えば  は「プラグを抜くこと」を示しています。

⚠警告	
●	本機は日本国内専用です。交流１００Ｖ、５０Ｈｚ・６０Ｈｚの電源でご使用ください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。交流２００Ｖ系の電源でご使用になられる場合は、当社営業窓口にご相談ください。
⃠	電源コードを傷つけないでください。電源コードを加工したり、傷つけたり、重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。また、熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一電源コードが傷んだら、当社サービス窓口に修理をご依頼ください。
	内部に水や異物を入れないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜き、当社サービス窓口にご相談ください。
	本機から煙や異音がでる、異臭がするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になることがあります。異常が発生したら直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社サービス窓口にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。
⃠	直射日光の当たる場所や、湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所には置かないでください。 上記のような場所に置くと、火災や感電の原因になることがあります。

⚠注意	
	安定した場所に設置してください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、落下によりけがの原因になることがあります。
	長期間の使用において内部にほこりがたまると、火災や感電の原因となることがありますので定期的に内部の清掃をすることをお勧めします。当社サービス窓口にご相談ください。
	本機は筐体全方面で放熱する方式です。長時間の通電状態で筐体に触れていると、ほんのり熱く感じる場合がありますが故障ではありません。 ラックマウントの際は、上下にブランクパネルを入れるなどにより、本機が放熱出来るように配慮してください。
	本機をご使用の際は、使用温湿度範囲をお守りください。保存される場合は保存温湿度範囲を守って保存してください。
	電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持って行ってください。電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずに、プラグの部分を持って抜き差ししてください。コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
	濡れた手で電源プラグにさわらないでください。 感電の原因になることがあります。
	定期的に電源プラグのチェックをしてください。 電源コンセントにプラグを長期間差し込んだままにしておくと、その間にほこりやゴミがたまってきます。さらに空気中の水分などを吸湿すると、電気が流れやすくなるため(トラッキング現象)プラグやコンセントが炭化し、ときには発火の原因になることがあります。事故を防ぐため定期的に電源プラグがしっかりささっているか、ほこりがついていないかなどを点検してください。
	機器の破損の原因となることがありますので、本機と入出力信号及び制御ケーブルを接続する際は、各機器の電源が切れている状態で接続してください。
	移動させるとき、長時間使わないときは電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。長期間使用しないときは安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。
	お手入れのときは、電源プラグを抜いてください。 電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因になることがあります。
	分解、改造などをしないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検や修理は当社のサービス窓口にご依頼ください。

使用上のご注意

■ 電源について

- 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなど）と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズによって本機が誤動作したりノイズが発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

■ 設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面が乱れたりラジオからノイズが出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機からノイズが出たり映像が途切れたりすることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。

■ お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

■ 修理について

- 正常な使用状態で本機に故障が発生した場合は、当社規定に定められた条件に従って修理いたします。但し、本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により通信、録画、再生などにおいて利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 修理に出される場合、記憶内容が失われることがあります。記憶内容はバックアップを保存してください。失われた記憶内容の修復・補償は対応できません。ご了承ください。

■ その他の注意について

- 記憶内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。記憶内容はバックアップを保存してください。失われた記憶内容の修復・補償は対応できません。ご了承ください。
- 故障の原因になりますので、入出力端子に過度の力を加えないでください。
- 輸送や引っ越しをするときは、本機が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

■ 知的財産権について

- 文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 第三者の権利を侵害する恐れのある用途に、本機を使用しないでください。お客様が本機を用いて他者の権利を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

■目　次

1 はじめに ---------- 7
1-1. 概要 ---------- 7
1-2. 同梱品の確認 ---------- 7
2 各部の名称とはたらき ---------- 8
2-1. フロントパネルの名称とはたらき ---------- 8
2-2. リアパネルの名称とはたらき ---------- 9
3 各種機能設定 ----------11
3-1. 本体メニュー操作について ----------11
3-2. メニュー一覧 ----------11
3-3. EDIDエミュレーション機能 ----------14
3-4. HDR設定機能 ----------14
3-5. EDID音声設定機能 ----------15
3-6. EDID VIC設定機能 ----------15
3-7. EDIDディープカラー設定機能 ----------15
3-8. HDCP非対応エミュレート機能 ----------16
3-9. 入力ステータス表示機能 ----------16
3-10. セレクターモード設定 ----------16
3-11. 出力HDMI/DVIモード設定 ----------17
3-12. 出力ダウンコンバート機能設定 ----------17
3-13. 出力カラースペース設定 ----------17
3-14. 出力ケーブル長補償設定 ----------18
3-15. 出力HDCPモード設定 ----------18
3-16. 出力HDCP Off時リセット設定 ----------18
3-17. HDBaseTリンクステータス表示 ----------18
3-18. 本体IPアドレス、デフォルトG/W、サブネットマスクの設定 ----------19
3-19. PJLinkターゲットの設定 ----------19
3-20. PJLinkコマンドの設定 ----------19
3-21. コマンドボタンの設定 ----------20
3-22. ネットワークリモートコントロール設定 ----------20
3-23. ブラウザリモートコントロール設定 ----------20
3-24. ユーザーロゴデータ情報の表示 ----------20
3-25. RS-232C利用方法の設定 ----------21
3-26. RS-232Cパラメーター設定 ----------21
3-27. USB利用方法の設定 ----------21
3-28. USBパラメーター設定 ----------21
3-29. CAT5e/6-OUT1シリアル設定 ----------21
3-30. CAT5e/6-OUT2シリアル設定（HCS-62のみ） ----------22
3-31. プロセスカラーの設定 ----------22
3-32. EDIDキャプチャー機能 ----------22
3-33. 本体ディスプレイ設定 ----------22
3-34. キーロック対象範囲の設定 ----------23
3-35. システム情報の表示 ----------23
3-36. USB Type-C映像の再接続設定 ----------23
3-37. 出荷時の状態に戻す ----------23

4 外部制御について----------24
4-1. コントロールコード表----------24
4-2. キャラクターコード表----------24
4-3. データ通信方式の概要----------25
4-4. コマンドの受信確認応答----------25
4-5. コマンドリファレンス----------26
4-6. RS-232C用ケーブルの結線----------28
4-7. RS-232Cの通信フォーマット----------28
4-8. LANケーブルの結線----------28
4-9. TCP、UDPの通信フォーマット----------28
5 Webブラウザによる制御----------29
5-1. Webブラウザ制御の概要----------29
5-2. トップ画面----------30
5-3. パネル操作画面----------31
5-4. 設定変更画面----------32
6 パラレルリモート----------33
6-1. PARA-REMOTEコネクタピン配列----------33
6-2. パラレルリモートの使用方法----------33
7 HDBaseTご使用上の注意----------34
8 USB Type-Cご使用上の注意----------35
9 ラックマウント方法について----------36
10 ケーブルの固定法について----------37
10-1. HDMIケーブル抜け止めキットCL-2の取付方法----------37
10-2. USBケーブル抜け止め金具CL-1の取付方法----------38
11 主な仕様----------39
11-1. 概略仕様----------39
11-2. HCS-62外観図----------40
11-3. HCS-61外観図----------41

1 はじめに

1-1. 概要

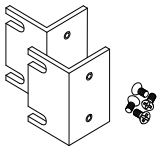
- HCS-62は、HDMI 2.0およびHDCP 2.2規格に準拠した6入力2出力のスイッチャーです。
- 各出力にHDMI端子とHDBaseT端子、ディエンベデッド音声出力端子を備えています。
- HDBaseTによるLANおよびRS-232C延長機能を備え、外部制御はRS-232C，LAN，USB、パラレル制御に対応しています。
- 4つのコマンド送出ボタンを備え、LAN端子からPJLink等の任意のコマンド送出が可能です。
- フロント面にオプションでUSB Type-CまたはHDMI入力端子を最大2系統追加することができます。
- オプションのUSB Type-C入力端子は最大60 WまでのUSB PD供給機能に対応しています。
- HCS-61は、出力が1系統になり、コマンド送出ボタンが2つになる以外はHCS-62と同等の機能を持ちます。

1-2. 同梱品の確認

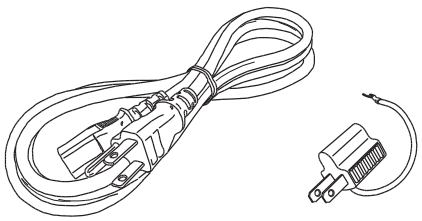
製品を箱から取り出したら、次のものが入っていることをご確認ください。
万一、内容物に不足がある場合は弊社までご連絡ください。



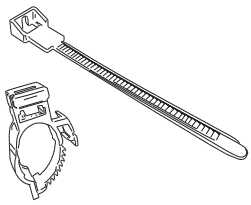
HCS-62/HCS-61 本体 .....1 台
（同時にご購入いただいたオプション入力が搭載されています）



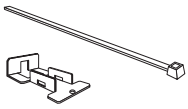
ラックマウント金具 .....2 個
取り付け用ネジ .....4 本



電源ケーブル (3P-3SL) .....1 本
（日本国内専用、ロック機構付き）
3P-2P 電源変換プラグ .....1 個



HDMI ケーブル抜け止めキット (CL-2)
HCS-62 .....8 セット
HCS-61 .....7 セット
HDMI 入力オプション .....1 セット



USB ケーブル抜け止め金具 (CL-1) と結束バンド
本体 .....1 セット
USB 入力オプション .....1 セット

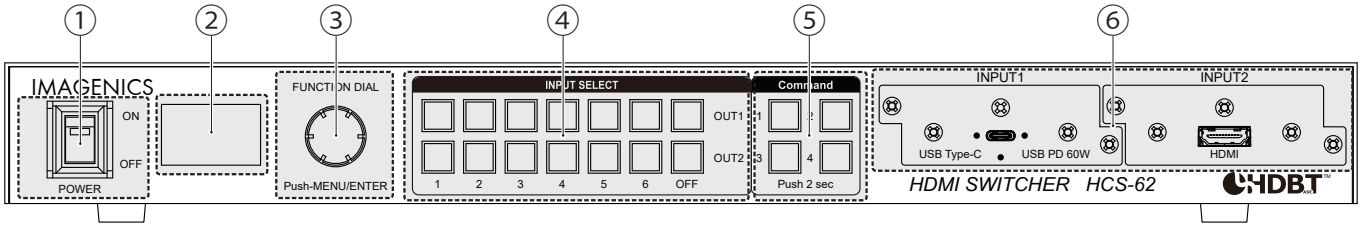


取扱説明書 (本書) .....1 セット

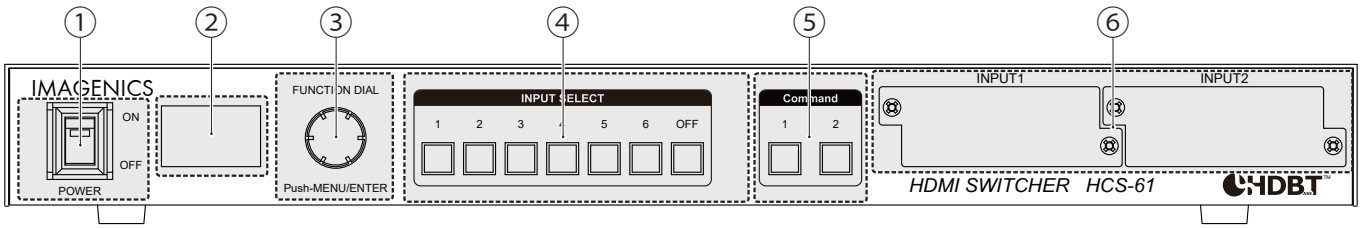
2 各部の名称とはたらき

2-1. フロントパネルの名称とはたらき

HCS-62（USB-C オプションと HDMI オプション搭載の例）



HCS-61（オプションなしの例）



① 電源スイッチ(POWER)

- 付属の電源ケーブルを接続してこのスイッチをON側にすると、緑の電源ランプが点灯して本機が起動します。
- スイッチには誤操作防止用の透明スイッチカバーが付いていますので、下からカバーを持ち上げて操作してください。

② 液晶ディスプレイ

- 本機の状態を表示したり、各種設定のためのメニューを表示します。
- 起動後の通常画面では各入出力の信号状態が確認できます。

③ FUNCTION DIAL

- プッシュと回転で②のメニューを操作します。
- 約5秒間長押しすると、本体前面パネル操作のロック/解除ができます。

④ 入力選択スイッチ(INPUT SELECT 1 ～ 6,OFF)

- 入力1 ～ 6、OFFを選択するスイッチです。映像入力と音声入力は常に連動して設定されます。
- HCS-62では2系統の出力別に入力を選択できます。

⑤ コマンド送出スイッチ(Command1 ～ 4または2)

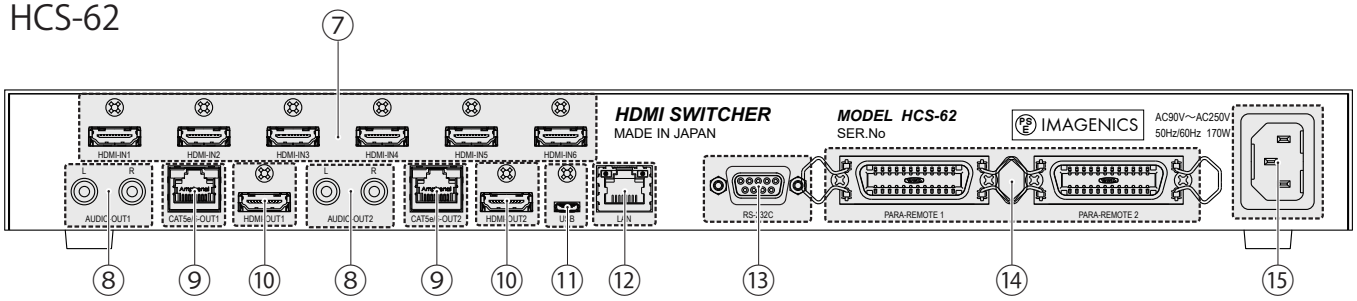
- 約2秒間の長押しにより、あらかじめ登録したコマンドをLAN端子⑬から送出します。
- HCS-62は4つ、HCS-61は2つのコマンドが登録/送出可能です。

⑥ オプション端子

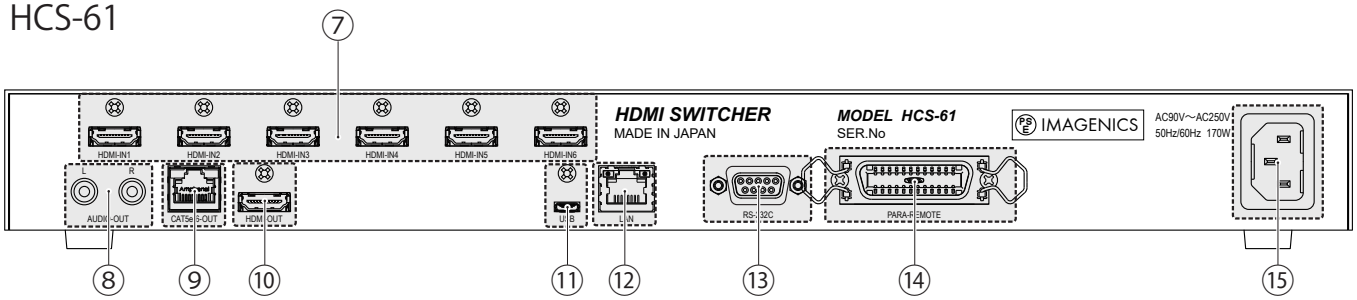
- USB Type-C(DP ALT Mode)端子入力またはHDMI端子入力を最大2つまで前面パネルに追加できます。
- オプション端子は弊社工場での取り付け作業が必要です。
- オプション端子はリアパネルのHDMI-IN1入力とHDMI-IN2入力との切り替えとなり、常にオプション端子の入力が優先されます。
- USB Type-C端子は最大60WのUSB PDに対応しています。(USB Type-C端子を2つ搭載した場合は最大45Wとなります)

2-2. リアパネルの名称とはたらき

HCS-62



HCS-61



⑦ HDMI信号入力(HDMI-IN1 ～ 6)コネクタ

- 本機に入力するソース機器を接続します。

⑧ デエンベデッド音声出力(AUDIO OUT1,2またはAUDIO OUT)コネクタ

- ⑨と⑩から出力されるデジタル音声信号をD/A変換し、アナログ音声信号として出力します。
- 対応フォーマットは2チャンネルのリニアPCMです。

⑨ CAT5e/6出力(CAT5e/6-OUT1,2またはCAT5e/6-OUT)コネクタ

- HDBaseT信号を出力します。受信器(CRO-HE25RX等)とCAT5e/6ケーブル(TIA/EIA T568A/B準拠のストレートケーブル)で接続します。
- ご使用の際は「7 HDBaseTご使用上の注意」をご参照ください。

注意 ここにLAN(Ethernet)端子を繋がないでください。

⑩ HDMI信号出力(HDMI-OUT1,2またはHDMI-OUT)コネクタ

- ⑥や⑦へ入力した信号の中から④で選択された信号を出力します。④でOFFを選択すると無信号になります。

⑪ USBコネクタ

- PCからはCOMポートとして認識され、本機のリモート制御に利用できます。
- 本機ファームウェアのアップデート等にも利用します。

⑫ LANコネクタ

- LAN(10BASE-T/100BASE-TX)による外部制御のための端子です。
- 同時にHDBaseT受信器(CRO-HE25RX等)のLAN端子との接続用にも利用できます。

注意 ここにHDBaseT信号を繋がないでください。

ヒント HDBaseT側のLANと本機の外部制御用のLANを同時接続するためにスイッチングハブを内蔵しています。

⑬ RS-232Cコネクタ

- 本機を外部制御する際に、コンピュータとストレートケーブルで接続します。
- 設定によりHDBaseT受信器(CRO-HE25RX等)のRS-232C端子との通信用に切り替えができます。

⑭ パラレルリモート(PARALLEL REMOTE1,2またはPARALLEL REMOTE)コネクタ

- 本機のパネルスイッチを、接点情報で外部制御するためのコネクタです。

⑮ 電源入力(AC IN)コネクタ

- 付属の電源コードでAC100V(50/60Hz)に接続します。

3 各種機能設定

3-1. 本体メニュー操作について

- FUNCTION DIAL(前面パネル③)を押すことでメニューが表示され、回すことでメニューを選択できます。選択したメニューに入るにはFUNCTION DIALを押します。値の変更もFUNCTION DIALを回す/押す操作で行います。
- 値の変更をキャンセルする場合、FUNCTION DIALを左右どちらかに回して"cancel"や"←"等の表示にしてからFUNCTION DIALを押します。
- ページを抜けるには、各ページにある"back to ****"を選択してFUNCTION DIALを押します。

3-2. メニュー一覧

項目	説明	参照先	出荷時設定値
INPUT MENU...	入力信号に関する親メニューです。		-
EDID Emulation...	EDIDのプリセットデータを選択します。	3-3	General Format
HDR Setting...	EDIDのHDRに関する設定をします。	3-4	SDR
EDID AUDIO MENU...	EDIDの音声に関するサブメニューです。		-
88.2kHz Support...	88.2kHzの音声入力を許可します。	3-5	Disable
96kHz Support...	96kHzの音声入力を許可します。	3-5	Disable
176.4kHz Support...	176.4kHzの音声入力を許可します。	3-5	Disable
192kHz Support...	192kHzの音声入力を許可します。	3-5	Disable
Max Channel...	音声の最大チャンネル数を設定します。	3-5	Support 2ch
EDID MISC MENU...	EDIDのVICテーブルやディープカラーに関するサブメニューです。		-
Add 50Hz/25Hz VIC...	60Hzや30Hz以外に50Hzや25Hzの入力も許可します。	3-6	Disable
Add 24Hz VIC...	60Hzや30Hz以外に24Hzの入力も許可します。	3-6	Disable
Add Low Reso VIC...	設定より低解像度の入力も許可します。	3-6	Disable
Deep Color 30bit...	30bit(10bit x 3)のディープカラーの入力を許可します。	3-7	Disable
Deep Color 36bit...	36bit(12bit x 3)のディープカラーの入力を許可します。	3-7	Disable
Deep Color YCC444...	YCC4:4:4のディープカラーの入力を許可します。	3-7	Disable
Input HDCP...	HDCPへの対応/非対応を設定します。	3-8	Enable
Input Signal Info...	入力信号のタイミングやステータス情報を表示します。	3-9	-
SELECTOR MENU...	セレクターに関する親メニューです。		-
SELECTOR1 MENU...	セレクター 1に関するサブメニューです。(HCS-62のみ表示されます)		-
SELECTOR2 MENU...	セレクター 2に関するサブメニューです。(HCS-62のみ表示されます)		-
Mode:	電源投入時の動作や、自動切換え動作に関する設定です。	3-10	Resume
Seq Time:	自動切換え設定時の切り替え間隔(時間)を設定します。	3-10	00h00m10s
Seq Range:	自動切換え設定時の切り替え範囲を設定します。	3-10	IN1-IN6
OUTPUT MENU...	出力信号に関わる親メニューです。		-
OUTPUT1 MENU...	出力1に関するサブメニューです。(HCS-62のみ表示されます)		-
OUTPUT2 MENU...	出力2に関するサブメニューです。(HCS-62のみ表示されます)		-
TMDS Mode...	HDMI出力/DVI出力の切り替えができます。(DVI信号入力はDVI信号のまま出力されます)	3-11	Auto
Down Convert...	4:4:4→4:2:0変換出力や4K→HD変換出力を設定します。	3-12	Auto
Output Color...	出力の色空間を設定します。	3-13	Auto
Equalizer...	出力ケーブル補償やHDBaseTのロングリーチモード設定です。	3-14	Auto
Output HDCP Mode...	出力のHDCPを入力のHDCPから変更するための設定ができます。	3-15	Input Thru
HDCP Off Reset...	出力のHDCPがOffになる際に出力を一旦リセットします。	3-16	Off
HDBaseT:	HDBaseT端子のリンク状態を表示します。	3-17	-
LAN MENU...	LAN端子に関する親メニューです。		-
IP:	本機のIPアドレスを設定します。	3-18	192.168.2.254
Mask:	ネットワークのサブネットマスクを設定します。	3-18	255.255.255.0
GW:	ネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	3-18	192.168.2.1

項目	説明	参照先	出荷時設定値
PJLink MENU...	PJLinkに関するサブメニューです。		-
PJLink Targ MENU...	PJLinkのターゲットに関するサブメニューです。		-
Targ1 ～ 4 Setting...	ターゲット毎に設定するサブメニューです。		-
IP:	ターゲットのIPアドレスを設定します。	3-19	0.0.0.0
Port#:	ターゲットが受け付けているポート番号を指定します。	3-19	4352
PW:	パスワード保護をしている場合のパスワードを設定します。	3-19	JBMIAProjectorLink
PJLink Cmd MENU...	PJLinkのコマンドに関するサブメニューです。		-
Cmd1 ～ 4 Setting...	コマンド毎に設定するサブメニューです。(HCS-61はCmd1 ～ 2となります)		-
Cmd:	コマンドを設定します。(コマンド毎に出荷時設定値が異なります)	3-20	%1POWR *¥r
Targ1 ～ 4:	ターゲット毎にコマンドを送信するかを設定します。	3-20	Off
RS232C:	本体のRS-232C端子にコマンドを送信するかを設定します。	3-20	Off
USB CDC:	本体のUSB端子にコマンドを送信するかを設定します。	3-20	Off
HDBT1 RS232C:	CAT5e/6 OUT1端子(HCS-61はCAT5e/6 OUT端子)に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子にコマンドを送信するかを設定します。(HCS-61はHDBT RS232C:となります)	3-20	Off
HDBT2 RS232C:	CAT5e/6 OUT2端子に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子にコマンドを送信するかを設定します。(HCS-62のみ表示されます)	3-20	Off
Protocol:	コマンドのプロトコルを設定します。	3-20	TCP
Sw Hold Time:	コマンド発行までのボタンを押し続ける時間を設定します。	3-21	2.0sec
LAN Ctrl Port#...	本機をLAN経由で制御するためのサブメニューです。		-
TCP Cmd Port#:	TCPプロトコルで受け付けるポート番号を指定します。	3-22	1300
UDP Cmd Port#:	UDPプロトコルで受け付けるポート番号を指定します。	3-22	1300
Browser Label...	ブラウザからの操作画面に関するサブメニューです。		-
TITLE:	ブラウザ操作画面のタイトル名を設定します。(モデルによって出荷時設定値が異なります)	3-23	HCS-6* Control
IN1 ～ 6:	ブラウザ操作画面の入力ボタンの名称を設定します。	3-23	INPUT1 ～ 6
OUT1 ～ 2:	ブラウザ操作画面の出力の名称を設定します。(HCS-62のみ表示されます)	3-23	OUTPUT1 ～ 2
CMD1 ～ 4:	ブラウザ操作画面のコマンドボタンの名称を設定します。(HCS-61はCMD1 ～ 2となります)	3-23	CMD1 ～ 4
Logo Type:	ユーザーロゴのファイルタイプを表示します。	3-24	-
Logo Size	ユーザーロゴのデータサイズを表示します。	3-24	-
UART MENU...	シリアル通信に関する親メニューです。		-
RS232C Setting...	RS-232C端子に関するサブメニューです。		-
Connect to:	RS-232C端子の接続先(利用方法)を設定します。	3-25	HCS-6x
Rate:	RS-232C端子のボーレートを設定します。	3-26	9600
DataSize:	RS-232C端子のデータサイズを設定します。	3-26	8bit
Parity:	RS-232C端子のパリティの設定をします。	3-26	None
Stop Bit:	RS-232C端子のストップビットを設定します。	3-26	1bit
USB Setting...	USBシリアル通信(PCDC)に関するサブメニューです。		-
USB Mode:	USBシリアル通信(PCDC)の接続先(利用方法)を設定します。	3-27	HCS-6x
Rate:	USBシリアル通信のボーレートを設定します。	3-28	115200
DataSize:	USBシリアル通信のデータサイズを設定します。	3-28	8bit
Parity:	USBシリアル通信のパリティの設定をします。	3-28	None
Stop Bit:	USBシリアル通信のストップビットを設定します。	3-28	1bit
HDBT1 Setting...	CAT5e/6-OUT1に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子に関するサブメニューです。(HCS-61はHDBT Settingsとなります)		-
Rate:	CAT5e/6-OUT1に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のボーレートを設定します。	3-29	9600
DataSize:	CAT5e/6-OUT1に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のデータサイズを設定します。	3-29	8bit
Parity:	CAT5e/6-OUT1に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のパリティの設定をします。	3-29	None
Stop Bit:	CAT5e/6-OUT1に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のストップビットを設定します。	3-29	1bit
HDBT2 Setting...	CAT5e/6-OUT2に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子に関するサブメニューです。(HCS-62のみ表示されます)		-
Rate:	CAT5e/6-OUT2に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のボーレートを設定します。	3-30	9600
DataSize:	CAT5e/6-OUT2に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のデータサイズを設定します。	3-30	8bit
Parity:	CAT5e/6-OUT2に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のパリティの設定をします。	3-30	None
Stop Bit:	CAT5e/6-OUT2に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子のストップビットを設定します。	3-30	1bit

項目	説明	参照先	出荷時設定値
SYSTEM MENU...	本機のその他の設定に関する親メニューです。		-
Proc Color:	内部信号処理の色を設定します。	3-31	RGB Full
EDID Capture...	EDID取り込みに関するサブメニューです。		-
Copy from:	EDIDを取り込む端子を選択します。	3-32	HDBT OUT1
Copy to:	EDIDを保存するメモリーを選択します。	3-32	Memory 1
Execute:	EDIDの取り込みを実行します。(実行後、自動で再起動します)	3-32	cancel
Display Setting...	本体LCDディスプレイに関するサブメニューです。		-
Contrast:	LCDのコントラストを調整します。	3-33	8
Sleep:	無操作時にバックライトが消えるまでの時間を設定します。	3-33	Off
Lock Setting...	各種操作を禁止する設定のサブメニューです。		-
Dial:	本体エディットメニューに入るのを禁止します。	3-34	Unlock
In Sw:	本体INPUT SELECTボタンの操作を禁止します。	3-34	Unlock
Cmd Sw:	本体Commandボタンの操作を禁止します。	3-34	Unlock
Parallel:	パラレルポートからの操作を禁止します。	3-34	Unlock
Web Sw:	ブラウザからのボタン操作を禁止します。	3-34	Unlock
Web Edit:	ブラウザからのパラメーター変更操作を禁止します。	3-34	Unlock
System Info...	本機の各種情報を表示するサブメニューです。		-
Model:.	製品名を表示します。USB Type-Cオプション搭載時は末尾にC、HDMIはHが付きます。	3-35	-
Serial:	製品シリアル番号を表示します。	3-35	-
Firm Ver:	製品のソフトウェアのバージョンを表示します。	3-35	-
AccTime:	累積通電時間を表示します。	3-35	-
MACAdrs:	ネットワークのMACアドレスを表示します。	3-35	-
OP1:	オプション端子1のタイプを表示します。	3-35	-
Ver:	オプション端子1のバージョンを表示します。(HDMI Optionはバージョン表示されません)	3-35	-
OP2:	オプション端子2のタイプを表示します。	3-35	-
Ver:	オプション端子2のバージョンを表示します。(HDMI Optionはバージョン表示されません)	3-35	-
USB DP Retry:	USB Type-C映像の再接続を試みる回数を設定します。	3-36	0
Reset to Shipment...	全ての設定を出荷時設定に復帰します。(実行後、自動で再起動します)	3-37	-

3-3. EDIDエミュレーション機能

- EDIDのプリセットデータを切り換えたり、「3-32. EDIDキャプチャー機能」でキャプチャーしたEDIDを使ったり、⑨・⑩に繋いだディスプレイ等のEDIDデータをスルーすることができます。
- [INPUT MENU]-[EDID Emulation]を選択すると[IN1:] ～ [IN6:]それぞれに設定が可能です。

設定値	動作
GeneralFmt	各種フォーマットに対応した一般的な設定です。
4K60p444	4K60p/50pの 4:4:4 または4:2:2に固定します。
4K30p444	4K30p/25pの 4:4:4 または4:2:2に固定します
4K60p420	4K60p/50pの 4:2:0 に固定します。
1080p60	1920x1080/60pまたは50pに固定します。
1024x768x60	1024x768x60 (VESA DMT) に固定します。
1280x800x60	1280x800x60 (VESA DMT) に固定します。
1280x1024x60	1280x1024x60 (VESA DMT) に固定します。
1360x768x60	1360x768x60 (VESA DMT) に固定します。
1366x768x60	1366x768x60 (VESA DMT) に固定します。
1400x1050x60	1400x1050x60 (VESA DMT) に固定します。
1440x900x60	1440x900x60 (VESA DMT) に固定します。
1600x900x60	1600x900x60 (VESA DMT) に固定します。
1600x1200x60	1600x1200x60 (VESA DMT) に固定します。
1680x1050x60	1680x1050x60 (VESA DMT) に固定します。
1920x1200x60	1920x1200x60 RB (VESA DMT) に固定します。
EDID Memory 1	EDID Memory 1を使用します。
EDID Memory 2	EDID Memory 2を使用します。
EDID Memory 3	EDID Memory 3を使用します。
EDID Memory 4	EDID Memory 4を使用します。
EDID Memory 5	EDID Memory 5を使用します。
EDID Memory 6	EDID Memory 6を使用します。
HDBT OUT1 Thru	CAT5e/6 OUT1(HCS-62)またはCAT5e/6 OUT(HCS-61)端子に接続された機器のEDIDをスルーします。
HDMI OUT1 Thru	HDMI OUT1(HCS-62)またはHDMI OUT(HCS-61)端子に接続された機器のEDIDをスルーします。
HDBT OUT2 Thru	CAT5e/6 OUT2端子に接続された機器のEDIDをスルーします。(HCS-62のみ選択できます)
HDMI OUT2 Thru	HDMI OUT2端子に接続された機器のEDIDをスルーします。(HCS-62のみ選択できます)

注意 設定された解像度に接続した機器が対応していない場合、異なる解像度で出力されたり、映像が出力されない事があります。

注意 "EDID Memory 1" ～ "HDMI OUT2 Thru"に設定する場合、「3-31. プロセスカラーの設定」を"Thru"に設定することをお勧めします。その他の設定にした場合、十分な画質が得られなかったり、映像が正しく表示されない場合があります。

ヒント EDID Memoryは「3-32. EDIDキャプチャー機能」でデータを取り込んでからお使いください。

3-4. HDR設定機能

- EDIDのHDRに関する設定を変更できます。
- [INPUT MENU]-[HDR Setting]を選択すると[IN1:] ～ [IN6:]それぞれに設定が可能です。
- 「3-3. EDIDエミュレーション機能」を"EDID Memory 1" ～ "HDMI OUT2 Thru"に設定した場合は無効です。

設定値	動作
SDR	HDR信号の入力を禁止し、SDR信号に固定します。
HLG	HLG方式のHDR信号の入力を許可します。
PQ HDR400	PQ方式（HDR400相当）のHDR信号の入力を許可します。
PQ HDR600	PQ方式（HDR600相当）のHDR信号の入力を許可します。
PQ HDR1000	PQ方式（HDR1000相当）のHDR信号の入力を許可します。
HLG & PQ HDR400	HLG方式とPQ方式（HDR400相当）のHDR信号の入力を許可します。
HLG & PQ HDR600	HLG方式とPQ方式（HDR600相当）のHDR信号の入力を許可します。
HLG & PQ HDR1000	HLG方式とPQ方式（HDR1000相当）のHDR信号の入力を許可します。

注意 HDRに設定する際は、「3-31. プロセスカラーの設定」を“YCC422”または“Thru”に設定して下さい。その他の設定の場合、十分な画質が得られなくなります。

3-5. EDID音声設定機能

- 入力端子毎に音声の各サンプリング周波数対応の可否や最大チャンネル数を設定できます。
- [INPUT MENU]-[EDID AUDIO MENU]-[88.2kHz Support] ～ [Max Channel]を選択すると各入力毎に設定が可能です。
- 「3-3. EDIDエミュレーション機能」を"EDID Memory 1" ～ "HDMI OUT2 Thru"に設定した場合は無効です。

設定項目	設定内容
88.2kHz Support	88.2kHzの音声入力を許可します。
96kHz Support	96kHzの音声入力を許可します。
176.4kHz Support	176.4kHzの音声入力を許可します。
192kHz Support	192kHzの音声入力を許可します。
Max Channel	最大チャンネル数を設定します。

注意 音声はリニアPCMのみ対応しています。

注意 音声出力端子⑧からの出力は、Max Channelの設定に関わらず最大2チャンネルになります。

ヒント 32kHz、44.1kHz、48kHzの音声入力は常に許可されています。

3-6. EDID VIC設定機能

- 「3-3. EDIDエミュレーション機能」で"4K60P444"、"4K30P444"、"4K60P420"、"1080p60"を選択した場合、出荷状態では60Hz/30Hzのみが許可されますが、同じ解像度の50Hz/25Hzや24Hzの入力も許可するように設定ができます。
- また選択した解像度に加えて、設定解像度より低解像度の入力を全て許可するようにも設定ができます。
- [INPUT MENU]-[EDID MISC MENU]-[Add 50Hz/25Hz VIC] ～ [Add Low Reso VIC]を選択すると各入力毎に設定が可能です。
- 「3-3. EDIDエミュレーション機能」を"4K60P444"、"4K30P444"、"4K60P420"、"1080p"に設定した場合のみ有効です。

設定項目	設定内容
Add 50Hz/25Hz VIC	設定解像度の60Hz/30Hz系に加えて、50Hz/25Hz系の入力を許可します。
Add 24Hz VIC	設定解像度の60Hz/30Hz系に加えて、24Hz系の入力を許可します。
Add Low Reso VIC	設定解像度に加えて、設定解像度よりも低解像度の入力を全て許可します。

ヒント 「3-3. EDIDエミュレーション機能」で"General Format"を選択した場合は、常に50Hz/25Hz/24Hz系の入力も許可されます。

3-7. EDIDディープカラー設定機能

- EDIDのディープカラーの設定ができます。
- [INPUT MENU]-[EDID MISC MENU]-[Deep Color 30bit] ～ [Deep Color YCC444]を選択すると各入力毎に設定が可能です。
- 「3-3. EDIDエミュレーション機能」を"EDID Memory 1" ～ "HDMI OUT2 Thru"に設定した場合は無効です。

設定項目	設定内容
Deep Color 30bit	30bit(10bit x 3)ディープカラー入力を許可します。
Deep Color 36bit	36bit(12bit x 3)ディープカラー入力を許可します。
Deep Color YCC444	YCC 4:4:4でのディープカラー入力を許可します。

注意 本機は48bit(16bit x 3)カラーには対応しておりません。

注意 「3-31. プロセスカラーの設定」で"Thru"を選択した場合のみディープカラーを出力できます。その他の設定では本機内で24bit(8bit x 3)カラーに変換されます。

3-8. HDCP非対応エミュレート機能

- 本機の入力端子がHDCPに対応していないように見せかける機能です。
- [INPUT MENU]-[Input HDCP]を選択すると[IN1:] ～ [IN6:]それぞれに設定が可能です。

設定値	動作
Enable	HDCPに対応します。
Disable	HDCP非対応として動作します。

注意 本機能を"Disable"にした入力に、ブルーレイディスク等の著作権保護が必要な映像ソースを繋ぐと映像は映りません。(多くの場合黒画面が表示されます)

3-9. 入力ステータス表示機能

- 本機に入力された入力信号の信号タイミングや付加情報を本体ディスプレイで確認することができます。
- [INPUT MENU]-[Input Signal Info]-[IN1 Detail Info] ～ [IN6 Detail Info]を選ぶと、各入力の詳細な情報が確認できます。
- [Page1]で入力信号の各種タイミング情報が確認できます。
- [Page2]、[Page3]ではピクセル周波数や各種付加情報が確認できます。

注意 ピクセル周波数はおおよその数字で正確な表示ではありません。また付加情報は正しく表示できない場合があります。

3-10. セレクターモード設定

- 電源投入時のセレクターの動作や、自動切換え動作を設定できます。
- [SELECT MENU]-[SELECTOR* MENU(HCS-62のみ)]を選択すると、[Mode:]で以下の設定ができます。

設定値	動作
Resume	電源を切った時の入力で起動します。
Power On IN1	常にIN1で起動します。
Power On IN2	常にIN2で起動します。
Power On IN3	常にIN3で起動します。
Power On IN4	常にIN4で起動します。
Power On IN5	常にIN5で起動します。
Power On IN6	常にIN6で起動します。
Power On OFF	常にOFFで起動します。
Sequence All	信号の有無に関係なく入力を順番に切り替えます。
Sequence Act	信号がある入力のみを順番に切り替えます。
Sel Priority	信号がある若い番号の入力に切り替えます。
Sel Last Act	信号が検出された入力に切り替えます。
Sel Last Chg	信号変化が検出された入力に切り替えます。

注意 信号検出は信号の状態やタイミングによっては正しく行われない場合があります。

- [Mode:]を"Sequence All"または"Sequence Act"にした場合、以下の各種設定が有効です。

設定項目	設定内容
[Seq Time:]	入力の切替間隔(秒)を設定します。
[Seq Range:]	入力の切替範囲を設定します。

3-11. 出力HDMI/DVIモード設定

- 映像出力を強制的にHDMIモードまたはDVIモードにすることができます。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[TMDS Mode]を選択すると[HDBT:]と[HDMI:]それぞれに設定ができ、設定値のすぐ下に現在の出力状態が表示されます。
- [HDBT:]がCAT5e/6出力⑨、[HDMI:]がHDMI出力⑩の設定になります。

設定値	動作
Auto	接続された機器に最適な設定で出力します。
HDMI	強制的にHDMIモードで出力します。
DVI	強制的にDVIモードで出力します。

注意 DVI入力信号はHDMI信号に変換できません。そのまま出力されます。

3-12. 出力ダウンコンバート機能設定

- 映像出力が3840x2160または4096x2160解像度で色空間が4:4:4の場合に、1920x1080または2048x1080解像度にダウンコンバートが可能です。
- また映像出力が3840x2160/60p/50pまたは4096x2160/60p/50pで色空間が4:4:4の場合に、YCC4:2:0への変換も可能です。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[Down Convert]を選択すると[HDBT:]と[HDMI:]それぞれに設定ができ、設定値のすぐ下に現在の出力状態が表示されます。
- [HDBT:]がCAT5e/6出力⑨、[HDMI:]がHDMI出力⑩の設定になります。

設定値	動作
Auto	接続された機器に最適な設定で出力します。
Off	入力された解像度のまま出力します。
444→420	出力が4K60p/50pで色空間が4:4:4の時、YCC4:2:0に変換します。
4K→HD	出力が4K解像度で色空間が4:4:4の時、HD解像度にダウンコンバートします。

注意 内部処理設定が"YCC422"および"Thru"の場合と入力信号がYCC420の場合、444→420変換および4K→HD変換は動作しません。

注意 入力信号がYCC420の場合、常にYCC420のまま出力され、ダウンコンバートはできません。

3-13. 出力カラースペース設定

- [SYSTEM MENU]-[Proc Color:]設定が"RGB Full"、"RGB Limit"、"YCC444"の場合に、出力の色空間が設定可能です。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[Output Color]を選択すると[HDBT:]と[HDMI:]それぞれに設定ができ、設定値のすぐ下に現在の出力状態が表示されます。
- [HDBT:]がCAT5e/6出力⑨、[HDMI:]がHDMI出力⑩の設定になります。

設定値	動作
Auto	接続された機器に最適な設定で出力します。
RGB444	常にRGB4:4:4で出力します。
YCC444	常にYCC4:4:4で出力します。
Thru	内部処理の色設定のまま出力します。

注意 DVI入力信号は常にDVI信号(RGB4:4:4)のまま出力されます。

注意 入力信号がYCC420の場合、常にYCC420のまま出力されます。

注意 [SYSTEM MENU]-[Proc Color:]設定が"YCC422"および"Thru"の場合、色空間の変換は行われません。

注意 [SYSTEM MENU]-[Proc Color:]設定が"YCC444"の場合、RGB444出力はフルレンジ(0 ～ 255)で出力されます。

3-14. 出力ケーブル長補償設定

- 各出力にケーブル長補償機能を搭載しています。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[Equalizer]を選択すると[HDBT:]と[HDMI:]それぞれに設定ができ、設定値のすぐ下に現在の出力状態が表示されます。
- [HDBT:]がCAT5e/6出力⑨、[HDMI:]がHDMI出力⑩の設定になります。

設定値	動作
Auto	接続された機器や出力解像度に最適な設定で出力します。
On	[HDBT:]側：HDBaseTのロングリーチモードになります。 [HDMI:]側：常にプリエンファシスを有効にします。

注意 HDBaseTの受信器側がロングリーチモードに設定されると、本機の設定にかかわらず自動的にロングリーチモードとなります。

注意 HDMI2.0出力時、[HDMI:]の設定は無視され常にプリエンファシスが有効になります。

3-15. 出力HDCPモード設定

- 入力のHDCPが1.4の場合にHDCP2.2で出力したり、入力のHDCPの状態に関わらず出力のHDCPを常にOnにした状態にすることができます。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[Output HDCP Mode]を選択すると[HDBT:]と[HDMI:]それぞれに設定ができ、設定値のすぐ下に現在の出力状態が表示されます。
- [HDBT:]がCAT5e/6出力⑨、[HDMI:]がHDMI出力⑩の設定になります。

設定値	動作
Input Thru	選択された入力信号のHDCPの状態のまま出力します。
1.4 to 2.2	選択された入力信号のHDCPが1.4の場合にHDCP2.2で出力します。(HDCP2.2の場合はそのまま出力します)
Always 2.2	常にHDCP2.2を掛けた状態で出力します。
Always 1.4	常にHDCP1.4を掛けた状態で出力します。

注意 "Always 1.4"に設定した場合、4K映像やHDMI2.0信号は出力できなくなります。

ヒント HDCP1.4での動作が不安定な機器や入力切り替えの際のHDCPの変化に弱い機器を接続する場合などに有効です。

3-16. 出力HDCP Off時リセット設定

- Onに設定すると、出力のHDCPがOffになる際に出力を一旦リセットします。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[Page2]-[HDCP Off Reset]を選択すると[HDBT:]と[HDMI:]それぞれに設定ができます。

表示内容	状態
Off	通常の動作です。
On	出力のHDCPがOffになる際に出力を一旦リセットします。

ヒント HDCPの変化に弱い機器を接続する場合などに有効です。

3-17. HDBaseTリンクステータス表示

- CAT5e/6出力のリンク状態を表示します。
- [OUTPUT MENU]-[OUTPUT* MENU(HCS-62のみ)]-[Page2]を選択すると一番下に現在の接続状態が表示されます。

表示内容	状態
No Link	接続されていません。
Long Reach	ロングリーチモードで接続されています。
Normal Link	通常のHDBaseTで接続されています。

3-18. 本体IPアドレス、デフォルトG/W、サブネットマスクの設定

- [LAN MENU]-[IP:]/[Mask:]/[GW:]で本体のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定ができます。

設定項目	設定内容
[IP:]	本体のIPアドレスを設定します。
[Mask:]	接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
[GW:]	接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

注意 設定は電源の再投入後に有効になります。

3-19. PJLinkターゲットの設定

- [LAN MENU]-[PJLink MENU]-[PJLink Targ MENU]-[Targ1 Setting]～[Targ4 Setting]で、4台分のPJLink（または汎用コマンド）のターゲット設定ができます。

設定項目	設定内容
[IP:]	ターゲット機器のIPアドレスを設定します。
[Port#:]	ターゲットが待機しているポート番号を設定します。 4352に設定した場合にPJLinkとして動作し、それ以外の設定では汎用コマンドとして動作します。
[PW:]	PJLinkの接続先パスワードを設定します。 汎用コマンドでは無視されます。 最大32文字記憶でき、スペース文字以降は無視されます。

注意 パスワードは平文での表示/記録ですので、セキュリティーにご注意ください。

ヒント 本体での設定は入力が大変ですので、ブラウザからの設定をお勧めします。

3-20. PJLinkコマンドの設定

- [LAN MENU]-[PJLink MENU]-[PJLink Cmd MENU]-[Cmd1 Setting] ～ [Cmd4 Setting]で、HCS-62は4種類、HCS-61は2種類のPJLinkコマンド（または汎用コマンド）が登録できます。

設定項目	設定内容
[Cmd:]	送信するコマンドを設定します。 コマンドは最大128文字記憶でき、特殊文字はエスケープシーケンスで入力します。 コマンドは複数のコマンドを列挙でき、[CR]コード(¥r)を区切り文字として実行します。
[Targ1:]	[Targ1 Setting]で設定したターゲットにコマンドを送る/送らないを設定します。
[Targ2:]	[Targ2 Setting]で設定したターゲットにコマンドを送る/送らないを設定します。
[Targ3:]	[Targ3 Setting]で設定したターゲットにコマンドを送る/送らないを設定します。
[Targ4:]	[Targ4 Setting]で設定したターゲットにコマンドを送る/送らないを設定します。
[RS232C:]	本体のRS-232C端子にコマンドを送る/送らないを設定します。
[USB CDC:]	本体のUSB端子にコマンドを送る/送らないを設定します。
[HDBT1 RS232C:]	CAT5e/6-OUT1端子（HCS-61はCAT5e/6-OUT端子）に接続したHDBaseT受信器等のRS232C端子にコマンドを送る/送らないを設定します。（HCS-61はHDBT RS232C:となります）
[HDBT2 RS232C:]	CAT5e/6-OUT2端子に接続したHDBaseT受信器等のRS232C端子にコマンドを送る/送らないを設定します。（HCS-62のみ表示されます）
[Protocol:]	コマンドをTCPで送るかUDPで送るかを設定します。 PJLinkではTCPを選択してください。

注意 特殊文字はエスケープシーケンスで記憶しますので、特殊文字を使う場合は実際のコマンド文字数が128文字より少なくなります。

ヒント 本体での設定は入力が大変ですので、ブラウザからの設定をお勧めします。

ヒント 本機で使用できるエスケープシーケンスは以下の通りです。

¥0：[NUL]コード（00h）、¥a：[BEL]コード（07h）、¥b：[BS]コード（08h）、

¥f：[FF]コード（0Ch）、¥n：[LF]コード（0Ah）、¥r：[CR]コード（0Dh）、

¥t：[HT]コード（09h）、¥v：[VT]コード（0Bh）、¥¥：[¥]コード（5Ch）

¥x??：任意の1バイトの16進数（??h）

3-21. コマンドボタンの設定

- [LAN MENU]-[PJLink MENU]-[PJLink Cmd MENU]-[Sw Hold Time:]で、Commandボタンが反応するまでの時間を設定できます。

設定項目	設定内容
[Sw Hold Time:]	Commandボタンを押し続けて反応するまでの時間を0.1 ～ 5.0秒の間で設定できます。

3-22. ネットワークリモートコントロール設定

- [LAN MENU]-[LAN Ctrl Port#]で、本機の制御をネットワーク経由で行う場合の設定ができます。

設定項目	設定内容
[TCP Cmd Port#:]	TCPでの本体制御で受信するポート番号を指定します。
[UDP Cmd Port#:]	UDPでの本体制御で受信するポート番号を指定します。



イメージニクス製品はTCP/UDP共に"1300"で制御を行います。通常は"1300"のままお使いください。

3-23. ブラウザリモートコントロール設定

- [LAN MENU]-[Browser Label]-[Page1]/[Page2]/[Page3]で、ブラウザでの操作画面に使われるボタン等のラベルの変更ができます。
- ラベル変更は本体操作では半角英数文字のみ入力でき、ボタンは最大32文字、タイトルは64文字まで記憶できます。
- ブラウザからは多言語入力が可能で、UTF-8でそれぞれ32バイト、64バイトまで記憶できます。

設定項目	設定内容
[TITLE:]	操作画面のタイトルを変更できます。(最大64バイト)
[IN1:]	INPUT SELECT 1ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[IN2:]	INPUT SELECT 2ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[IN3:]	INPUT SELECT 3ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[IN4:]	INPUT SELECT 4ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[IN5:]	INPUT SELECT 5ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[IN6:]	INPUT SELECT 6ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[OUT1:]	OUTPUT1のラベルを変更できます。(最大32バイト)(HCS-62のみ)
[OUT2:]	OUTPUT2のラベルを変更できます。(最大32バイト)(HCS-62のみ)
[CMD1:]	Command 1ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[CMD2:]	Command 2ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)
[CMD3:]	Command 3ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)(HCS-62のみ)
[CMD4:]	Command 4ボタンのラベルを変更できます。(最大32バイト)(HCS-62のみ)



一度ブラウザから設定した日本語等は本体では表示できませんので、本体では編集しないでください。



本体での設定は入力が大変ですので、ブラウザからの設定をお勧めします。

3-24. ユーザーロゴデータ情報の表示

- [LAN MENU]-[Browser Label]-[Page3]で、ブラウザでの操作画面に使われるユーザーロゴ部分のデータの確認ができます。
- ユーザーロゴはブラウザからのみ登録が可能です。
- ユーザーロゴは63,360バイト以下の.png、.jpg、.gif、.webpファイルが登録できます。
- ユーザーロゴの横：縦サイズ比は５：１程度が最適です。

表示項目	表示内容
[Logo Type:]	ユーザーロゴ(ブラウザで登録可能)のファイルタイプを表示します。
[Logo Size:]	ユーザーロゴ(ブラウザで登録可能)のデータサイズを表示します。



ユーザーロゴの登録後、自動で再起動を行います。



ユーザーロゴは「3-37. 出荷時の状態に戻す」の実行で消去されます。

3-25. RS-232C利用方法の設定

- [UART MENU]-[RS232C Setting]-[Connect to:]でRS-232C端子の利用方法を設定できます。

設定値	動作
HCS-6x	本機のリモート制御に利用できます。
HDBT-1	CAT5e/6 OUT1端子に接続されたHDBaseT受信器のRS-232C端子と接続できます。
HDBT-2	CAT5e/6 OUT2端子に接続されたHDBaseT受信器のRS-232C端子と接続できます。(HCS-62のみ)

注意 "HDBT-1"または"HDBT-2"設定では送受信に若干の遅れが生じます。厳密なタイミングを必要とする用途には利用できません。

注意 "HDBT-1"または"HDBT-2"設定ではCTS/RTSによるハードウェア通信制御は使えません。ソフトウェアによる通信制御を行うか、充分な間隔を開けての通信を行ってください。

3-26. RS-232Cパラメーター設定

- [UART MENU]-[RS232C Setting]-[Rate:]/[DataSize:]/[Parity:]/[Stop Bit:]では、RS-232Cの各種設定ができます。接続する機器と同じ設定にしてください。

設定項目	設定内容
[Rate:]	ビットレートを選択します。
[DataSize:]	データサイズを選択します。
[Parity:]	パリティ方式を選択します。
[Stop Bit:]	ストップビット長を選択します。

3-27. USB利用方法の設定

- [UART MENU]-[USB Setting]-[USB Mode:]で、USB端子の用途に関する設定ができます。

設定値	動作
HCS-6x	本機のリモート制御に利用できます。
HDBT-1	CAT5e/6 OUT1端子に接続されたHDBaseT受信器のRS-232C端子と接続できます。
VS100-1	HDBaseTに関するファームウェアの更新等に利用します。
HDBT-2	CAT5e/6 OUT2端子に接続されたHDBaseT受信器のRS-232C端子と接続できます。(HCS-62のみ)
VS100-2	HDBaseTに関するファームウェアの更新等に利用します。(HCS-62のみ)

注意 “HDBT-1”または“HDBT-2”に設定した場合、「3-25. RS-232C利用方法の設定」が優先されます。

3-28. USBパラメーター設定

- [UART MENU]-[USB Setting]-[Rate:]/[DataSize:]/[Parity:]/[Stop Bit:]では、USBのシリアル通信に関する各種設定ができます。

設定項目	設定内容
[Rate:]	ビットレートを選択します。
[DataSize:]	データサイズを選択します。
[Parity:]	パリティ方式を選択します。
[Stop Bit:]	ストップビット長を選択します。

3-29. CAT5e/6-OUT1シリアル設定

- [UART MENU]-[HDBT1 Setting]-[Rate:]/[DataSize:]/[Parity:]/[Stop Bit:]では、CAT5e/6-OUT1（HCS-61はCAT5e/6-OUT）に接続したHDBaseT受信器等のRS-232C端子に関する各種設定ができます。

設定項目	設定内容
[Rate:]	ビットレートを選択します。
[DataSize:]	データサイズを選択します。
[Parity:]	パリティ方式を選択します。
[Stop Bit:]	ストップビット長を選択します。

3-30. CAT5e/6-OUT2シリアル設定（HCS-62のみ）

- [UART MENU]-[HDBT2 Setting]-[Rate:]/[DataSize:]/[Parity:]/[Stop Bit:]では、CAT5e/6-OUT2端子に接続されたHDBaseT受信器等のRS-232Cに関する各種設定ができます。

設定項目	設定内容
[Rate:]	ビットレートを選択します。
[DataSize:]	データサイズを選択します。
[Parity:]	パリティ方式を選択します。
[Stop Bit:]	ストップビット長を選択します。

3-31. プロセスカラーの設定

- 内部処理の色空間を統一します。
- [SYSTEM MENU]-[Proc Color:]で以下の設定ができます。

設定値	動作
RGB Full	内部処理を8bit RGB4:4:4のフルレンジ(0 ～ 255)に統一します。
RGB Limit	内部処理を8bit RGB4:4:4のリミットレンジ(16 ～ 235)に統一します。
YCC444	内部処理を8bit YCC4:4:4に統一します。
YCC422	内部処理をYCC4:2:2に統一します。
Thru	信号の色を統一せずそのまま出力します。

注意 DVI入力信号は常にDVI信号(RGB4:4:4)のまま出力されます。

注意 YCC420入力信号は常にYCC420信号のまま出力されます。

注意 "YCC422"および"Thru"選択時とYCC420入力信号は「3-12. 出力ダウンコンバート機能設定」は動作しません。

3-32. EDIDキャプチャー機能

- HDBaseT OUTやHDMI OUT端子に接続された機器のEDID情報を本機内のEDID Memory 1 ～ 6に保存し、入力端子のEDIDとして利用できます。
- [SYSTEM MENU]-[EDID Capture]で以下の設定ができます。

設定項目	設定内容
[Copy from:]	保存したいEDID情報を持つ機器が接続されている出力端子を選択します。
[Copy to:]	読み込んだEDID情報を保存するEDID Memoryを選択します。
[Execute:]	EDID Memoryへの保存を実行します。(保存終了後、自動で再起動します)

ヒント [Copy from:]と[Copy to:]の下には、それぞれのEDID情報内の名称が表示されます。(表示されない場合があります)

注意 キャプチャーしたEDIDデータは「3-37. 出荷時の状態に戻す」の実行で初期化されます。

3-33. 本体ディスプレイ設定

- [SYSTEM MENU]-[Display Setting]-[Contrast:]/[Sleep:]で、本体ディスプレイに関する設定ができます。

設定項目	設定内容
[Contrast:]	本体ディスプレイのコントラストを調整します。
[Sleep:]	本体ディスプレイのバックライトが消えるまでの時間を設定します。 0に設定すると常時点灯となります。

ヒント トップ画面でFUNCTION DIAL③を左に回すと、スリープ時間を待たずに手動でバックライトを消すことができます。

3-34. キーロック対象範囲の設定

- [SYSTEM MENU]-[Lock Setting]で、各種操作を禁止する設定ができます。

設定項目	設定内容
[Dial:]	本体ディスプレイの設定画面に入れないようにロックできます。
[In Sw:]	本体の入力選択スイッチ④操作がロックされます。
[Cmd Sw:]	本体のコマンド送出スイッチ⑤操作がロックされます。
[Parallel:]	パラレルリモート⑭からの制御がロックされます。
[Web Sw:]	ブラウザのトップ画面、パネル操作画面がロックされます。
[Web Edit:]	ブラウザからの設定変更画面がロックされます。

注意 [Dial:]をロックしてもMENUから抜けるまではロックされません。

ヒント ③の長押し操作とリモートコマンドのパネルロックでは[Dial:]、[In Sw:]、[Cmd Sw:]が同時にロックされます。

3-35. システム情報の表示

- [SYSTEM MENU]-[System Info]で、本体の様々な情報が表示されます。

表示項目	表示内容
[Model:]	製品名を表示します。製品名の末尾にオプションの構成が表示されます。(USB Type-Cは'C'、HDMIは'H')
[Serial:]	シリアル番号を表示します。
[Firm Ver:]	本体ファームウェアのバージョンを表示します。
[AccTime:]	累計の通電時間を表示します。
[MACAdrs:]	本機のネットワークMACアドレスを表示します。
[OP1:]	オプション端子1のタイプを表示します。
[Ver:]	オプション端子1のバージョンを表示します。(HDMI Optionはバージョン表示されません)
[OP2:]	オプション端子2のタイプを表示します。
[Ver:]	オプション端子2のバージョンを表示します。(HDMI Optionはバージョン表示されません)

3-36. USB Type-C映像の再接続設定

- [SYSTEM MENU]-[Page2]-[USB DP Retry]で、USB Type-Cに接続した機器から映像入力が無い場合に、再接続を試みる回数を設定できます。

設定項目	設定内容
[USB DP Retry:]	USB Type-Cからの映像入力が無い場合に、再接続を試みる回数を設定できます。。

注意 USB PDのみを利用する場合は0に設定してください。

注意 USB PD認証時にディスプレイが一時的に表示される設定の機器（スマートフォンやタブレット端末等）を利用する場合、機器の表示が切れた際にUSB PDの再接続が繰り返されてしまうため、必ず0に設定してください。

3-37. 出荷時の状態に戻す

- [SYSTEM MENU]-[Page2]-[Reset to Shipment]で工場出荷状態へ戻すことができます。
- “cancel”を“Execute”に変更してからFUNCTION DIAL(前面パネル③)を押すと実行します

4 外部制御について

4-1. コントロールコード表

機能概要	コマンド	HEXコード	備考
INPUT OFF	q	71H	後続はカンマと最大3桁の整数
DATA READ	w	77H	
キーロック設定	K l	6BH 6CH	
キーロック解除	K u	6BH 75H	
キーロック状態取得	K y	6BH 79H	
セミコロン	;	3BH	デリミタ
キャリッジリターン	CR	0DH	コマンド実行
応答要求	?	3FH	コマンド実行
EDID書き換え	d d c	64H 64H 63H …	

ヒント CR はキャリッジリターンを示します。16進数の0DH(10進数の13)です。

4-2. キャラクターコード表

下位4bit（16進表記） \ 上位4bit	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ヒント A は上位4bitが4、下位4bitが1なので、41H(10進数の65)となります。

ヒント 本機のコマンドで使用しないキャラクタは網掛けしています。

4-3. データ通信方式の概要

- 本機とホストコンピュータとの接続方法は、RS-232C，LAN(TCP)，LAN(UDP), USBの4通りあり、これらは全て同じコマンド体系で動作します。
- 複数の通信方式を同時に使用することも可能です。この場合、各々のコマンドが完結した順に処理します。なお、矛盾する制御(例えばRS-232Cで「INPUT 1をOUTPUT 1」、LANで「INPUT 2をOUTPUT 1」に設定)をほぼ同時に受信した場合、どちらが優先するかは不定となりますのでご注意ください。
- 本機内部のコマンド受信バッファは、CR または ; を受信すると、それまでに受信したキャラクタを解析します。CR を受信すると、それまでの解析結果が正常であれば即時実行します。; を受信すると、解析結果が正常であれば実行待ち専用のバッファに格納し、受信バッファは開放されます。なお、コマンド受信バッファは受信時刻の管理をしていません。
- 戻り値のあるコマンドを発行した場合、戻り値が完結してから次のコマンドを発行してください。
- 電源投入後、初期化の完了を確認するには、wCR や ? 等の戻り値のあるコマンドを発行します。戻り値が得られれば、初期化は完了しています。

4-4. コマンドの受信確認応答

- CR の代わりに ? を受信すると、本機は応答を返します。
- ? 以前に受信したコマンドにおいて、余分なキャラクタを含まない適切なコマンドなら $ を返します。余分なキャラクタが含まれていたり、解釈できないコマンドなら ! を返します。

送信キャラクター（例） ? 1,1;02,02?
戻り値 ! $
↑無意味なコマンドなので ! を戻します。

- データリード等、元々応答がある場合、CR の代替として、$ または ! を返します。

送信キャラクター w? Zw?
戻り値（例） 002$ 002!
↑ Z が余分なので ! を戻します。

4-5. コマンドリファレンス

クロスポイントの設定を変更します。(HCS-62のOUT1とHCS-61のみの簡素版)			
コマンド	[入力番号] CR		2 ～ 4バイト可変
戻り値	なし		-
説明	[入力番号]	入力番号を 0 ～ 6 の最大3桁の整数で表します。 OFFを選択する場合は 0 (30H)または q (71H)を指定します。	
備考	無効な入力番号を指定した場合、コマンドは破棄されます。		

クロスポイントの設定を変更します。			
コマンド	[入力番号] , [出力番号] CR		4 ～ 8バイト可変
戻り値	なし		-
説明	[入力番号]	入力番号を 0 ～ 6 の最大3桁の整数で表します。 OFFを選択する場合は 0 (30H)または q (71H)を指定します。	
	,	入力番号と出力番号の区切りのカンマです。キャラクタコードは2CHです。	
	[出力番号]	出力番号を 1 ～ 2 の最大3桁の整数で表します。 HCS-61の場合は 1 (31H)または r (72H)を指定します。	
備考	無効な入力番号を指定した場合、コマンドは破棄されます。		

クロスポイントの状態を取得します。			
コマンド	w CR		2バイト
戻り値	[VOUT1] ; [VOUT2] CR (HCS-62) または[VOUT1] CR (HCS-61)		8バイトまたは4バイト
説明	w	半角小文字の'w'です。キャラクタコードは77Hです。	
	[VOUT1]	出力1に設定されている入力番号を 0 0 0 ～ 0 0 6 の3桁の整数で表します。 0 0 0 はOFFが選択されていることを表します。	
	;	出力毎の区切りのセミコロンです。キャラクタコードは3BHです。(HCS-62のみ)	
	[VOUT2]	出力2に設定されている入力番号を 0 0 0 ～ 0 0 6 の3桁の整数で表します。(HCS-62のみ) 0 0 0 はOFFが選択されていることを表します。	
	CR	戻り値の終端を表します。	

操作パネルのキーロックを設定します。			
コマンド	k l CR		3バイト
戻り値	なし		-
説明	k l	半角小文字の'k'と'l'です。キャラクタコードは6BH 6CHです。	
備考	既にキーロック設定中に本コマンドを発行した場合、コマンドは破棄されます。		

操作パネルのキーロックを解除します。			
コマンド	k u CR		3バイト
戻り値	なし		-
説明	k u	半角小文字の'k'と'u'です。キャラクタコードは6BH 75Hです。	
備考	既にキーロック解除状態で本コマンドを発行した場合、コマンドは破棄されます。		

操作パネルのキーロック状態を取得します。			
コマンド	k y CR		3バイト
戻り値	F R E E CR または L O C K CR		5バイト
説明	k y	半角小文字の'k'と'y'です。キャラクタコードは6BH 79Hです。	
	F R E E	キーロックが解除されています。キャラクタコードは46H 52H 45H 45H です。	
	L O C K	キーロックが設定されています。キャラクタコードは4CH 4FH 43H 4BH です。	
	CR	戻り値の終端を表します。	

EDIDプリセットデータ番号を取得します。			
コマンド	d d c CR		4バイト
戻り値	[IN1] ; [IN2] ; [IN3] ; [IN4] ; [IN5] ; [IN6] CR		24バイト
説明	d d c	キャラクタコードは64H 64H 63Hです。	
	[INn]	INPUT nに設定されているEDID Emulationの設定値を 0 0 0 ～ 0 2 5 の十進数3桁で戻します。	
	CR	戻り値の終端を表します。	

EDIDプリセットデータ番号を設定します。			
コマンド	d d c [入力番号] # [プリセット番号] CR		11バイト
戻り値	なし		-
説明	d d c	キャラクタコードは64H 64H 63Hです。	
	[入力番号]	INPUT番号を表す固定長3桁の数値で 0 0 0 ～ 0 0 6 を指定します。 0 0 0 は全チャンネル一括指定です。	
	#	キャラクタコードは23Hです。	
	[プリセット番号]	HCS-62は固定長3桁の十進数値で 0 0 0 ～ 0 2 5 を指定します。 HCS-61は 0 0 0 ～ 0 2 3 を指定します。	
例 1	d d c 0 0 3 # 0 0 0 CR	INPUT 3のEDIDデータをプリセット0(General Format)に書き換えます。	
例 2	d d c 0 0 0 # 0 0 1 CR	全てのINPUTのEDIDデータをプリセット1(4K60p/50p 444)に書き換えます。	

本体LCDの各入力の信号フォーマット表示を取得します。			
コマンド	i [入力番号] CR		3 ～ 5バイト可変
戻り値	[解像度] CR [付加情報] CR		40バイト
説明	i	キャラクタコードは69Hです。	
	[入力番号]	INPUT番号を表す最大3桁の数値で 1 ～ 6 を指定します。 0 は無効です。	
	[解像度]	入力の解像度およびHDCPの状態を返します。	
	[付加情報]	色空間および音声フォーマットを返します。	

アナログ音声出力をミュートをします。			
コマンド	a m [出力番号] CR		4 ～ 6バイト可変
戻り値	なし		-
説明	a m	キャラクタコードは61H 6DHです。	
	[出力番号]	出力番号を表す最大3桁の数値で 1 ～ 2 を指定します。 0 は無効です。	

アナログ音声出力のミュートを解除します。			
コマンド	a a [出力番号] CR		4 ～ 6バイト可変
戻り値	なし		-
説明	a a	キャラクタコードは61H 61Hです。	
	[出力番号]	出力番号を表す最大3桁の数値で 1 ～ 2 を指定します。 0 は無効です。	

ネットワークコマンドを出力します。			
コマンド	c [コマンド番号] CR		3バイト
戻り値	なし		-
説明	c	キャラクタコードは63Hです。	
	[コマンド番号]	コマンドボタンの番号を表す固定長1桁の数値で、 1 ～ 4 (HCS-62) または 1 ～ 2 (HCS-61) を指定します。	

4-6. RS-232C用ケーブルの結線

本機(D-SUB 9ピンオス)			外部制御機器(D-SUB 9ピン)		(D-SUB 25ピン)
端子No.	信号名	方向	端子No.	信号名	端子No.
1	NC(未接続)		1	DCD(キャリア検出)	8
2	TXD(送信データ)	→	2	RXD(受信データ)	3
3	RXD(受信データ)	←	3	TXD(送信データ)	2
4	DSR(6ピンと短絡)	←	4	DTR(データ端末レディ)	20
5	GND(信号グランド)	-	5	GND(信号グランド)	7
6	DTR(4ピンと短絡)	→	6	DSR(データセットレディ)	6
7	CTS(送信可)	←	7	RTS(送信要求)	4
8	RTS(送信要求)	→	8	CTS(送信可)	5
9	NC(未接続)		9	RI(被呼表示)	22

- コンピュータと接続する場合、RS-232Cストレートケーブルをご使用ください。

4-7. RS-232Cの通信フォーマット

設定項目	設定内容
パリティー	None, Odd, Even
データビット長	8bit, 7bit
ストップビット長	1bit, 2bit
ハードフロー	RS-232C: On
通信方式	全二重
通信速度	2400, 4800, 9600, 11400, 19200, 38400, 57600, 115200

4-8. LANケーブルの結線

- Auto MDI/MDI-Xに対応していますので、ケーブルのストレート/クロスは不問です。

本機(RJ-45)			外部制御機器(RJ-45)	
端子No.	信号名	方向	端子No.	信号名
1	TXD+	→	1	RXD+
2	TXD-	→	2	RXD-
3	RXD+	←	3	TXD+
4	NC(未接続)	-	4	-
5	NC(未接続)	-	5	-
6	RXD-	←	6	TXD-
7	NC(未接続)	-	7	-
8	NC(未接続)	-	8	-

4-9. TCP、UDPの通信フォーマット

設定項目	設定内容
TCPポート番号	1300 (1024 ～ 65535に変更可能)
UDPポート番号	1300 (1024 ～ 65535に変更可能)
通信方式	全二重
通信速度	10Mbps, 100Mbps

- TCPによる同時接続は最大16です。従って、本機1台に対して、16台のコンピュータ等からTCPのコマンド送受信が可能です。受信コマンドはコンピュータ毎に区別して処理します。
- UDP通信の場合、同時接続台数の上限はありませんが、コマンドを正しく受信できなくなりますので、一つのコマンドを複数のパケットに分けて送信することはおやめください。

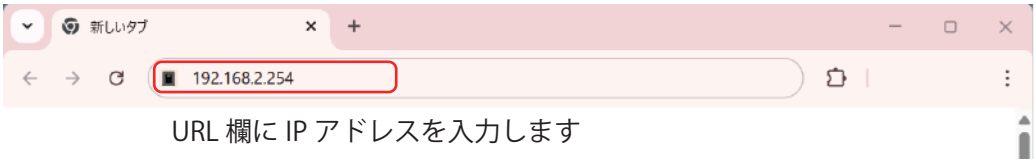
5 Webブラウザによる制御

5-1. Webブラウザ制御の概要

- 本機はブラウザからのパネル操作や設定変更が可能です。
- ブラウザのURL入力欄に本機のIPアドレスを入力（工場出荷状態では192.168.2.254）すると、ブラウザ上にトップ画面が現れます。画面に従って各種の操作や設定が可能です。
- トップ画面及びパネル操作画面のみ、本体操作やリモート操作、他のブラウザからの操作内容が自動で反映されます。
- 設定変更画面は複数のブラウザから同時に操作しない事をお勧めします。
- 複数のブラウザから設定変更画面での変更を行った場合、変更内容は他のブラウザへは反映されませんので、実際の設定とブラウザの表示が異なる場合があります。
- その際はブラウザのリロードボタンを押して表示内容を更新してください。

注意 「Google Chrome」「Microsoft Edge」等のChromiumブラウザ、「Apple Safari」、「Mozilla Firefox」以外での動作確認はしておりません

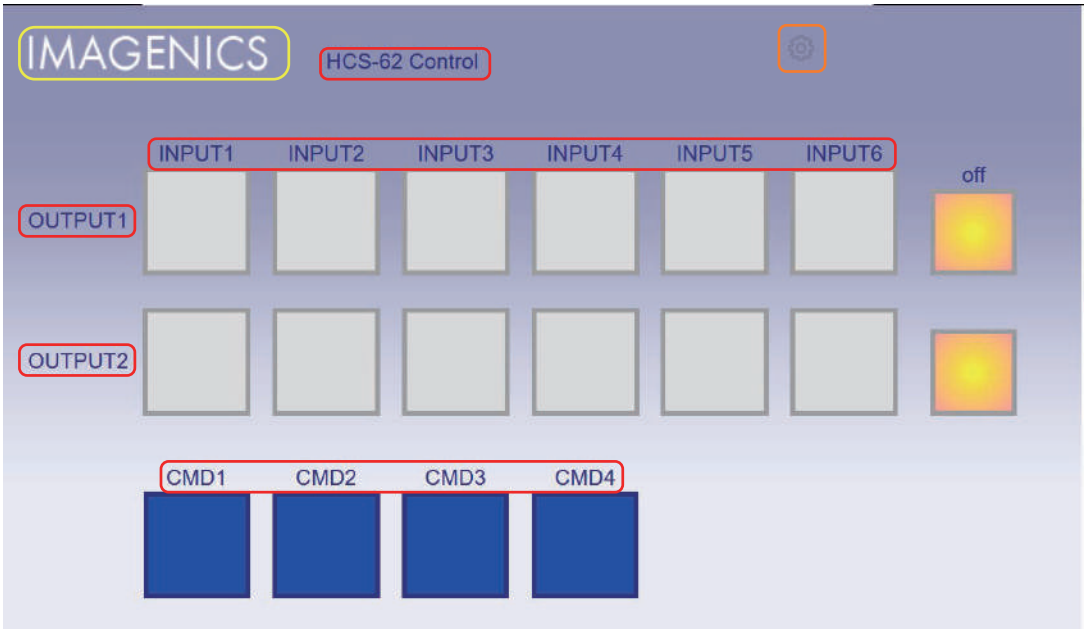
Chrome の例



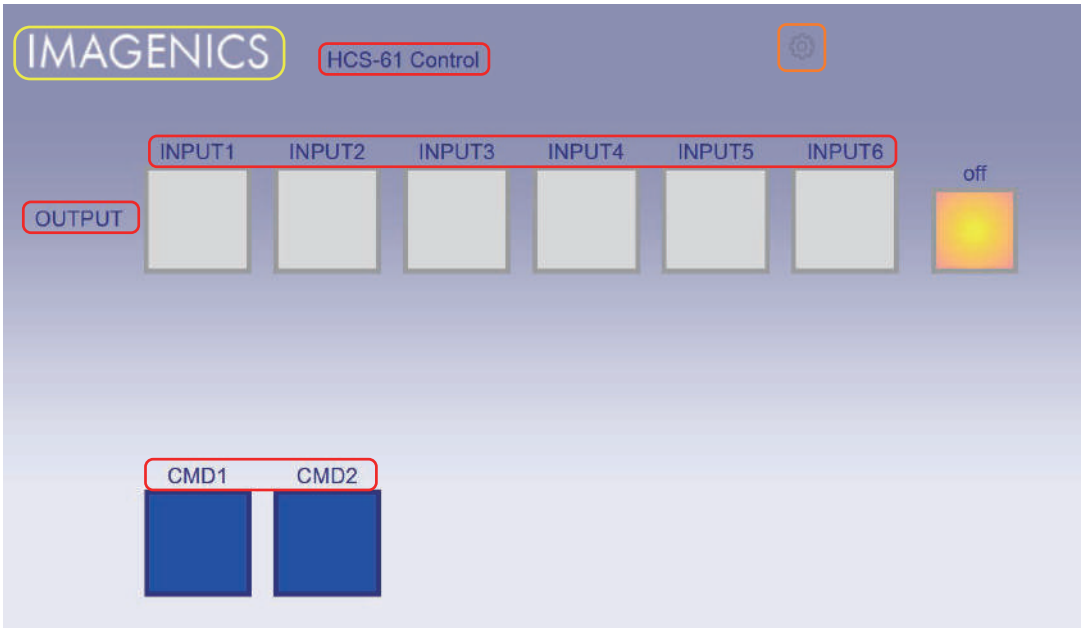
URL 欄に IP アドレスを入力します

5-2. トップ画面

HCS-62 のトップ画面



HCS-61 のトップ画面



▢ 文字列の変更が可能です　　▢ イメージの変更が可能です
▢ パネル操作画面へ移動します

5-3. パネル操作画面

HCS-62 のパネル操作画面



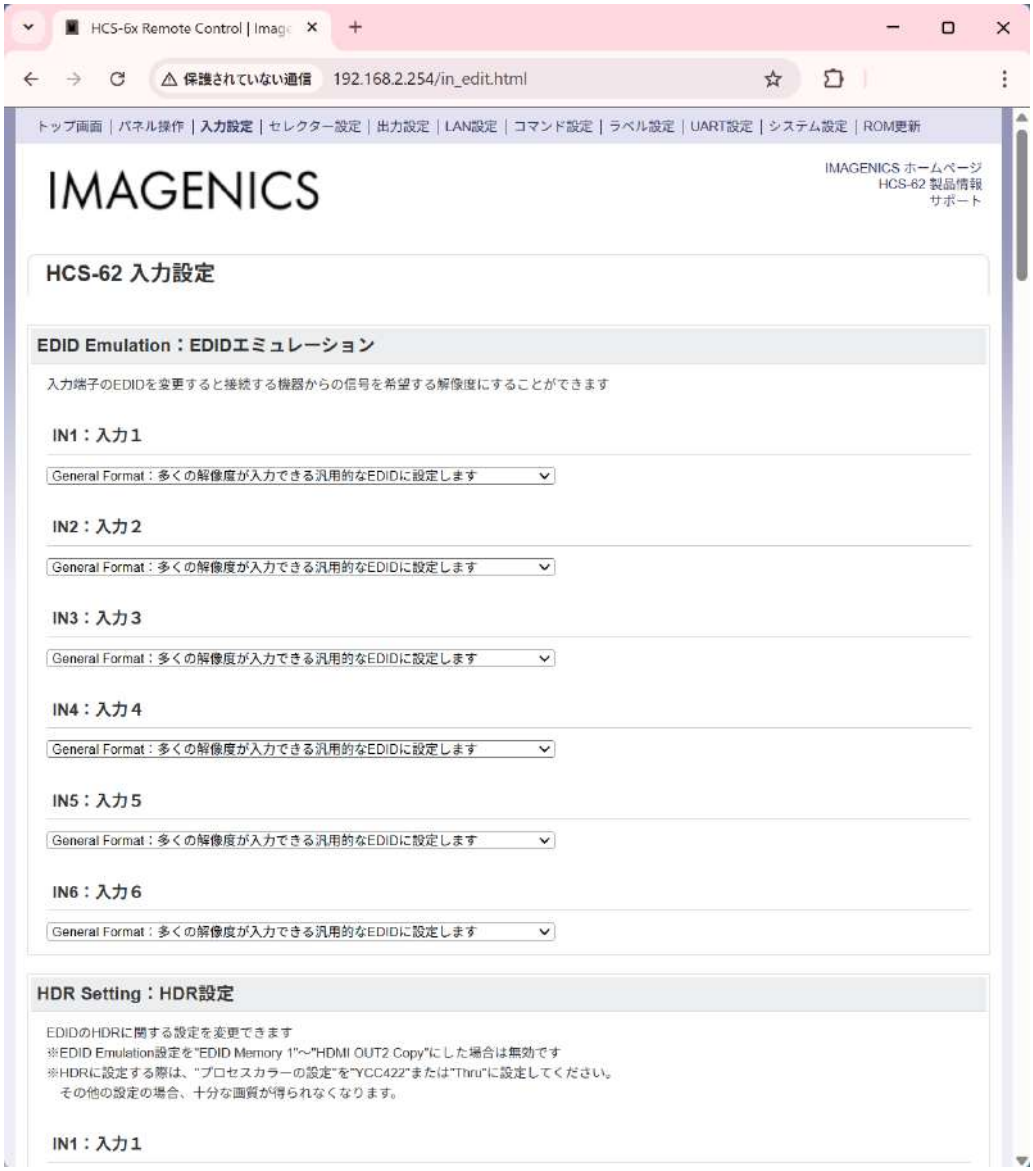
HCS-61 のパネル操作画面



- トップ画面へ移動します
- 各種設定画面へ移動します
- ファームウェア更新画面へ移動します
- マウスでのクリック / ホイール操作やタブレットでのタッチ / ドラッグ操作で実機と同様の操作ができます
- 実機と同様のボタン操作ができます（コマンドボタンは長押しが必要です）

5-4. 設定変更画面

- 設定変更画面では、本体メニューの変更可能な項目のすべての設定ができます。
- また本体では設定ができない、ブラウザトップ画面の「ユーザーロゴイメージデータの登録」「日本語によるラベル/タイトル設定」、さらには「EDIDデータの読み書き」「設定データのバックアップ」「ファームウェアのアップデート」が可能です。
- 各項目は「本体メニューの名称または設定値の名称：日本語による説明」の順で表記されています。
- [Set]ボタンがある項目については、[Set]ボタンを押した時点で値が反映されます。
- ラジオボタンの項目については、ボタンを押した時点で値が反映されます。
- [ファイルを選択]ボタンがある場合は、ボタンの上に書かれている情報を参考に、ファイルを選択してから[登録]/[読み込み]/[更新]ボタンを押してください。
- [ダウンロード]ボタンがある場合は、ブラウザを起動している機器標準のダウンロードフォルダへダウンロードされます。その際、ブラウザや機器のセキュリティー設定によってはダウンロードが保留される場合があります。



6 パラレルリモート

6-1. PARA-REMOTEコネクタピン配列

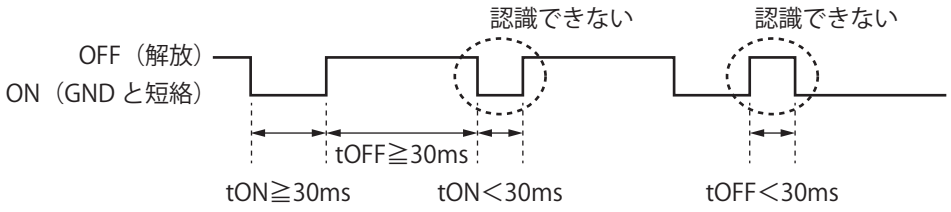
アンフェノール24ピンコネクタ (株)フジクラ社製 57RE-40240

端子No.	信号名	端子No.	信号名
1	GND	13	5V
2	INPUT SELECT OFF	14	INPUT TALLY OFF
3	INPUT SELECT 1	15	INPUT TALLY 1
4	INPUT SELECT 2	16	INPUT TALLY 2
5	INPUT SELECT 3	17	INPUT TALLY 3
6	INPUT SELECT 4	18	INPUT TALLY 4
7	INPUT SELECT 5	19	INPUT TALLY 5
8	INPUT SELECT 6	20	INPUT TALLY 6
9	Command SELECT 1 または 3	21	Command TALLY 1 または 3
10	Command SELECT 2 または 4	22	Command TALLY 2 または 4
11	Reserved（何も接続しないでください）	23	Reserved（何も接続しないでください）
12	Reserved（何も接続しないでください）	24	Reserved（何も接続しないでください）

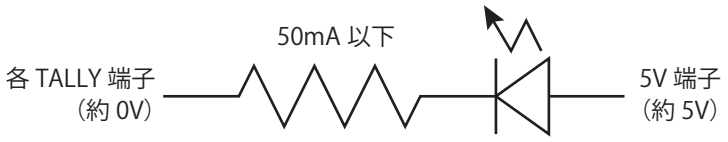
- HCS-62ではPARA-REMOTE1がフロントパネルOUT1のINPUT SELECTボタンとCommand1,2ボタンの制御端子、PARA-REMOTE2がフロントパネルOUT2のINPUT SELECTボタンとCommand3,4ボタンの制御端子となります。

6-2. パラレルリモートの使用方法

- INPUT SELECT OFF、INPUT SELECT 1 ～ 6およびCommand SELECT 1 ～ 4の各端子は、トランジスタのオープンコレクタ等による無電圧接点、またはモーメンタリスイッチ(ノンロック)により、GNDと短絡してください。
- スイッチの開閉を認識するために必要となる最小パルス幅はON/OFFともに30msです。



- 5V端子は本機からの出力で、各TALLY端子の照光用電源として使用できます。合計で500mA以内となるようにご使用ください。
- INPUT TALLY OFF、INPUT TALLY 1 ～ 6 およびCommand TALLY 1 ～ 4 の各ピンは、Lowアクティブのオープンコレクタ出力です。各端子とも50mA以下となるように外部電流制限抵抗を挿入してください。(本機は電流制限抵抗を内蔵していません)非アクティブ時の耐圧は最大+50Vです。



7 HDBaseTご使用上の注意

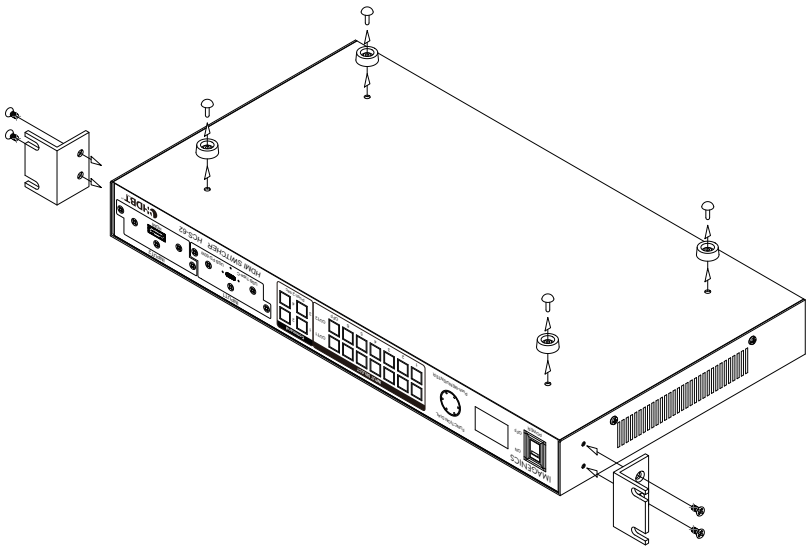
- CAT5e/6ケーブルは、電磁波や静電気の影響を受けにくいSTPケーブル（弊社別売りケーブル推奨）をご使用ください。
- TIA/EIA T568-A/B準拠のストレートケーブルをご使用ください。また、途中で延長用コネクタ（J-J・壁コン）などが入ると伝送に障害が出る場合があります。1本のケーブルで接続することを推奨します。
- ノイズ源から離れた場所へ、他のケーブルとなるべく離して敷設してください。
- 業務用・レジャー用無線機（トランシーバー）など強い電波を発生させる機器を近くで使用しないでください。本機や接続ケーブルの近くで使用すると映像や音声が乱れたり、途切れたりすることがあります。
- 本機の周辺で他機器の電源の入り切りや、ACコードの抜き差しをすると映像が途切れることがあります。
- CAT5e/6ケーブルは 5m以上で、かつ必要最小限の長さで接続してください。余分の長さをとぐろ巻き状態にするとノイズの影響を受けやすくなります。
- CAT5e/6ケーブルの温度が高くなると延長距離が短くなります。ケーブルを敷設する環境に注意してください。
- CAT5e/6ケーブルは強く引っ張らないでください。施工時は110N(約11kg)以下の張力としてください。
- CAT5e/6ケーブルは小さく曲げないでください。曲げ半径は外径の4倍以上にしてください。
- CAT5e/6ケーブルを結束する場合、結束具で強く締めないでください。
- IR信号には対応していません。
- CEC信号に対応していますが、一部の動作に対応しない場合があります。

8 USB Type-Cご使用上の注意

- USB Type-CケーブルはDP ALT Modeに対応した、E-Markerの内蔵された高品質なケーブル（弊社別売りケーブルを推奨）をお使いください。
- USB PDは本機の上限である60Wを超える機器も接続が可能です。接続機器は自動で60W以下の消費電力で動作します。
- 5m以上のケーブルは、イコライザーを内蔵したアクティブケーブルをご使用ください。
- USB Type-Cのコネクタは非常にデリケートです。本機に挿した状態でケーブルを上下や横に引っ張るなど無理な力を加えないでください。故障や火災の原因となる事があります。上下や横向きに力が掛かる用途には、USB規格に準拠したスクリューロック付きのケーブルをお使いください。
- USB規格に準拠していない機器、ケーブルは接続しないでください。故障や火災、やけどの原因となる場合があります。
- 接続の際はコネクタの端子部にほこりや水、ゴミ等が付着していない事を確認して下さい。故障や火災の原因となる事があります。
- 接続時、LCDディスプレイに"DP Link Error"と表示される場合は、コネクタの接触不良やケーブルの性能不足が疑われますので、コネクタ部分の接点に問題が無いか、ケーブルの性能は足りているか、確認をしてください。
- 接続したPC等で「ディスプレイが有効ではありません」と表示される場合は、ケーブルの性能不足が疑われますので、短いケーブルに変えるか、アクティブケーブル等をお使いください。
- USB Type-C端子を2つ搭載した場合、USB PDはそれぞれ45Wに制限されます。
- 本機内の発熱状態によっては供給電力を自動で60W以下に落とす場合があります。

9 ラックマウント方法について

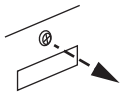
- 付属のラックマウント金具を使用します。
- 以下の図を参考にプラ足を取り外し、ラックマウント金具を取り付けてください。
- プラ足は、中央のピンをマイナスドライバーなどで引き抜くと外れます。



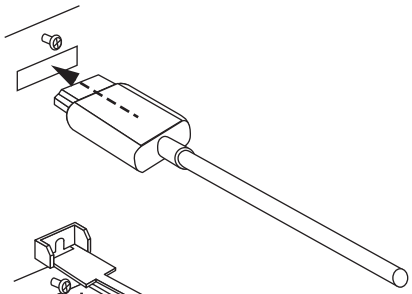
10 ケーブルの固定法について

10-1. HDMIケーブル抜け止めキットCL-2の取付方法

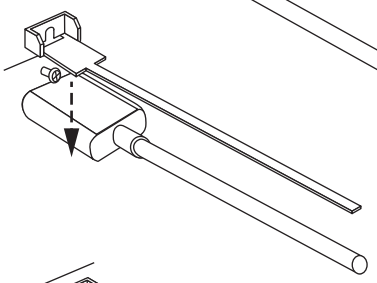
機器の HDMI コネクタ上部にあるネジをドライバー等で緩めてください。



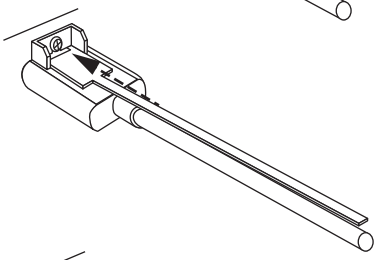
HDMI ケーブルを差し込みます。



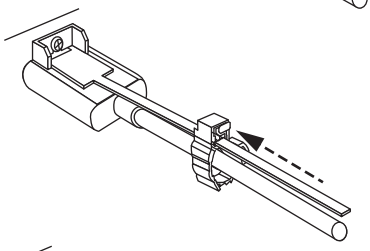
緩めたネジにケーブル抜け止めキットのベース部全部の切り欠きを引っかけます。



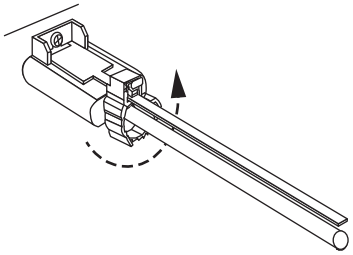
緩めたネジをドライバー等で締め、ケーブル抜け止めキットのベース部を固定します。



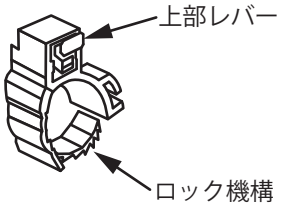
固定具のサイドにあるロック機構を外し、ケーブルを通します。右図のように固定具上部にベース部先端を通し、ケーブルを固定できる箇所までスライドさせていきます。



固定具のサイドにあるロック機構をケーブルの太さに合わせて締めて、ケーブルが機器より抜けないようにコネクタを固定します。

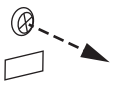


固定具を緩める（外す）場合は、ロック機構を外して、固定具上部のレバーを上側に上げながら後方へスライドさせてください。固定具の固定具合が緩くなったと感じた場合は、固定位置で固定具上部のレバーを下側に押し込むことにより固定度合いが強くなることが期待できます

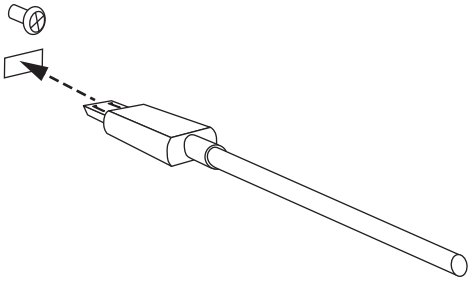


10-2. USBケーブル抜け止め金具CL-1の取付方法

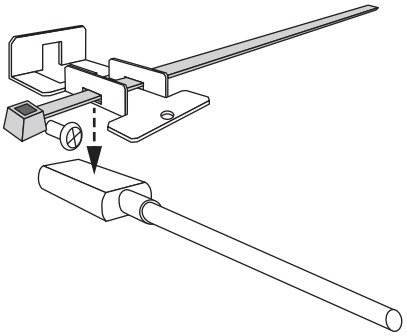
機器の USB コネクタ上部にあるネジをドライバー等で緩めてください。



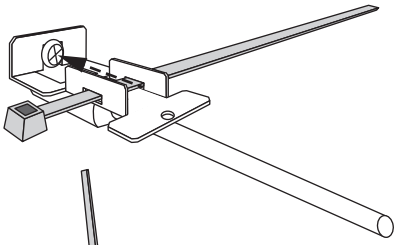
USB ケーブルを差し込みます。



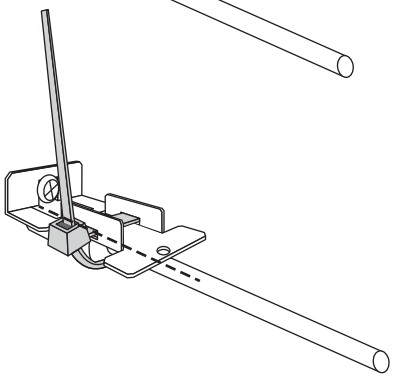
緩めたネジにケーブル抜け止め金具の切り欠きを引っかけます。



緩めたネジをドライバー等で締め、金具を固定します。



結束バンドをケーブルに巻き付けて穴に通し、締め付けてから
結束バンドの不要な部分を切り取ります。



11 主な仕様

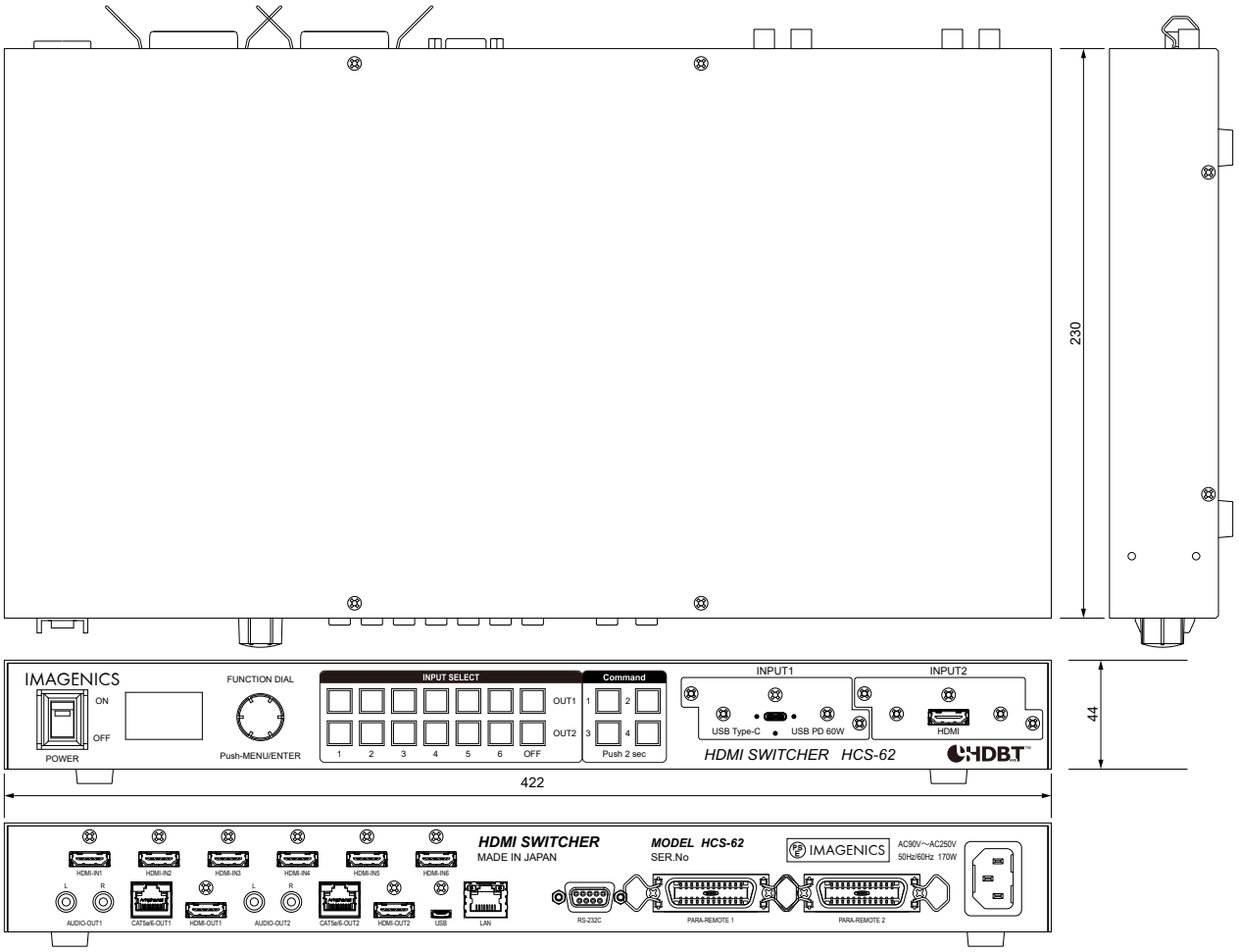
11-1. 概略仕様

映像信号方式	：HDMI2.0 HDCP2.2/1.4対応	
デジタル映像入力	：HDMI-A 19 ピンコネクタ	6 系統（CEC対応、HEC・ARC非対応）
入力ケーブル補償範囲	：4K60(422 , 444) 等18 Gbpsまでの映像	～ 10 m（弊社製HDP-HDP 10m使用時）
	：4K30, 60(420) 等10.2 Gbpsまでの映像	～ 20 m（弊社製HDP-HDP 20m使用時）
	：1080@60p 等6 Gbpsまでの映像	～ 30 m（弊社製HDP-HDP 30m使用時）
	※弊社製指定製品からの出力信号の場合です。他社製品からの出力信号の場合を除きます。	
デジタル映像出力	：HDMI-A 19 ピンコネクタ	2 系統（HCS-62）、1 系統（HCS-61）
出力ケーブル長範囲	：4K60(422 , 444) 等18 Gbpsまでの映像	～ 3 m（弊社製UHP-3使用時）
	：4K30, 60(420) 等10.2 Gbpsまでの映像	～ 5 m（弊社製UHP-5使用時）
	：1080@60p 等6 Gbpsまでの映像	～ 10 m（弊社製HDP-HDP 10m使用時）
	：1080@60p 等6 Gbpsまでの映像 (イコライザー ON時)	～ 15 m（弊社製HDP-HDP 15m使用時）
	※表示機器側の受信感度にも影響され、これより長短する場合があります。	
CAT5e/6映像出力	：HDBaseT1.0信号 RJ-45	2 系統（HCS-62）、1 系統（HCS-61）
CAT5e/6伝送距離	：4K30, 60(420) 等10.2 Gbpsまでの映像	～ 100 m CAT6A（AWG23 U/FTP) 使用時
	：4K30, 60(420) 等10.2 Gbpsまでの映像	～ 80 m CAT6A（AWG24 F/UTP) 使用時
	：4K30, 60(420) 等10.2 Gbpsまでの映像	～ 70 m CAT5e/6（AWG24 F/UTP) 使用時
	：1080@60p等4.5 Gbpsまでの映像 (ロングリーチモード時)	～ 150 m CAT5e/6（AWG24 F/UTP) 使用時
	※弊社製CRO-HE25RXを使った場合の延長距離です。	
アナログ音声出力	：RCAピンジャック 470 Ω 不平衡	ステレオ 2 系統（HCS-62）、1 系統（HCS-61）
オプションUSB Type-C入力	：USB Type-Cコネクタ	最大2 系統（DP ALT Mode(DP1.4※)、USB PD3.0 60 W対応）
入力ケーブル補償範囲	：4K60(422 , 444) 等の映像(HBR2の場合)	～ 5m（弊社製ケーブル使用時）
	※出力機器の性能にも左右されます。	
オプションHDMI入力	：HDMI-A 19 ピンコネクタ	最大2 系統（CEC対応、HEC・ARC非対応）
入力ケーブル補償範囲	：4K60(422 , 444) 等18 Gbpsまでの映像	～ 10 m（弊社製HDP-HDP 10m使用時）
	：4K30, 60(420) 等10.2 Gbpsまでの映像	～ 20 m（弊社製HDP-HDP 20m使用時）
	：1080@60p 等6 Gbpsまでの映像	～ 30 m（弊社製HDP-HDP 30m使用時）
	※弊社製指定製品からの出力信号の場合です。他社製品からの出力信号の場合を除きます。	
音声最大出力レベル	：+6 dBV(0 dBFS)	
音声デエンベデッド	：16 ～ 24 bit, ～ 192 kHz 2 ch LPCM	
ネットワーク端子	：RJ-45 8 ピンコネクタ	1 系統(HDBaseT との接続にスイッチングハブを内蔵)
信号	：10Base-T/100Base-TX TCP、UDP	
用途	：HDBaseTでの延長用および本機制御用（HTTP、PJLink他）	
USB端子	：Micro USB Type-Bコネクタ	1 系統
信号	：USB2.0 Full Speed	
用途	：本機制御用およびメンテナンス用(CDC)	
シリアル端子	：D-Sub9 ピンオス	1 系統
信号	：RS-232C準拠	
用途	：HDBaseTでの延長用または本機制御用	
パラレル端子	：アンフェノール24 ピンメス	2 系統（HCS-62）、1 系統（HCS-61）
信号	：本体パネルのボタンに連動した接点(1 系統あたり9接点)、タリー (1 系統あたり9回路)	
タリー用電源	：5 V 、1系統あたり500 mA	

動作温湿度範囲	：0 ℃ ～ 40℃ 20 %RH ～ 90 %RH (ただし結露なき事)
保存温湿度範囲	：-20 ℃ ～ 70℃ 20 %RH ～ 90 %RH (ただし結露なき事)
電源	：AC 90 V ～ AC 250 V 50 Hzまたは60 Hz
消費電力	：最大170 W (USB PD使用時) / 最大40 W (USB PD未使用時)
外形寸法図	：幅422 mm 高さ44 mm 奥行230 mm（突起物を除く）
質量	：約3.1 kg
付属品	：電源ケーブル(3P-3SL)、2P-3P変換、ラックマウント金具 2個、取り付け用ネジ 4 本、
	：HDMIケーブル抜け止めキット(CL-2) 8セット（HDMI入力オプション毎に1セット追加）、
	：USBケーブル抜け止め金具(CL-1)と結束バンド 1セット（USB Type-C入力オプション毎に1セット追加）、
	：取扱説明書

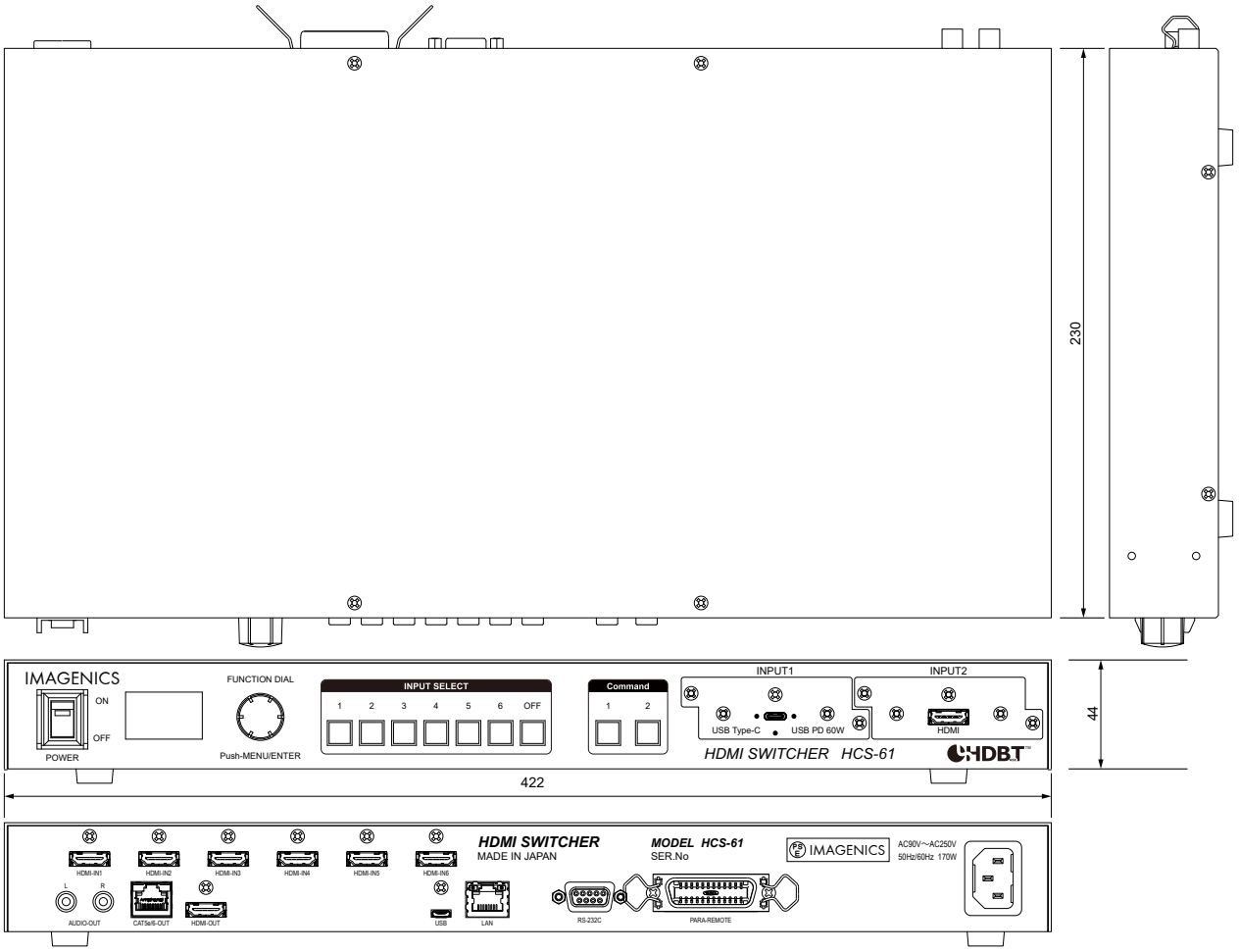
※HCS-62/HCS-61は高速な入力切り替えに対応していますが、シームレス切り替えではありません。
※CAT5e/6出力は、入力が4K60Pの場合、4K60P(420)または1080/60pへダウンコンバートして出力されます。
※4K60P(420)を除く、ピクセルレートが340MHzを超える解像度はCAT5e/6映像出力できません。
※CAT5e/6ケーブルは電磁波や静電気の影響を受けにくいSTPケーブル（弊社別売ケーブル推奨）をご使用ください。
※CAT5e/6ケーブルはTIA/EIA T568(A/B)準拠のストレートケーブルをご使用ください。
※途中で延長用コネクタ（J-J・壁コン）などが入ると障害が出る場合があります。
※オプションの入力は、それぞれリア側にあるHDMI IN1、HDMI IN2との切り替えとなり、フロント側の入力が優先されます。
※オプションのUSB Type-C端子からの本体制御はできません。
※USB Type-Cケーブルは USB3.2以上のUSB Type-Cケーブル（弊社別売ケーブル推奨）をご使用ください。
※USB Type-C DP ALT ModeはHBR2 4レーンまでの対応となります。またDSCに対応しております。
※USB Type-C端子を2つ搭載した場合、USB PDはそれぞれ45Wに制限されます。
※USB PDは本体内の発熱状況によっては供給電力を自動で60W以下に落とす場合があります。

11-2. HCS-62外観図



※このHCS-62外観図はオプションのUSB Type-C入力およびHDMI入力を搭載した状態を示しています。
※オプション非搭載の場合、フロント面にはブランクプレートがねじ止めされて出荷されます。

11-3. HCS-61外観図



※このHCS-61外観図はオプションのUSB Type-C入力およびHDMI入力を搭載した状態を示しています。
※オプション非搭載の場合、フロント面にはブランクプレートがねじ止めされて出荷されます。

- 本機は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、当社営業窓口までご相談ください。
- 正常な使用状態で本機の故障が発生した場合は、当社の規定に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本機の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書および本機は改良のため、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく複製、改変、引用、転載することを禁止します。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一誤りや記載漏れなどお気づきの点がございましたら当社営業窓口までご連絡ください。
- 本機に対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することを禁止します。
- 乱丁本、落丁本の場合はお取換え致します。当社営業窓口までご連絡ください。

HDMIおよびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
HDBaseT™およびHDBaseT AllianceロゴはHDBaseT Allianceの登録商標です。
PJLinkは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA)の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
Google Chrome™ browser・Chrome™ browserは米国Google LLCの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。
Safariは米国Apple Inc.の米国および他の国における各社の登録商標です。
その他、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
Copyright©2026, IMAGENICS Co., Ltd. All rights reserved.

製造元 イメージニクス株式会社

製品に関するお問い合わせは下記サポートダイアルにて承ります。

フリーダイヤル（全国共通）	0120-480-980
東日本サポートダイヤル	TEL 03(3464)1418
西日本サポートダイヤル	TEL 06(6358)1712

東京営業所	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-16-7 ハイウェービル 6F	TEL 03(3464)1401
大阪営業所	〒534-0025 大阪市都島区片町2-2-48 JR京橋駅NKビル 3F	TEL 06(6354)9599
福岡営業所	〒812-0013 福岡県博多区博多駅東1-18-25 第5博多偕成ビル 3F	TEL 092(483)4011
本社/技術本部	〒182-0022 東京都調布市国領町1-31-5	
URL	https://imagenics.co.jp/	